



# リアホナ



表紙  
写真/ロバート・ケーシー、  
写真はイメージです



「フレンド」表紙  
「主の来られるとき」  
ナンシー・シーモズ・クルックストーン画、  
複写は禁じられています

「ただ一人の生存者」  
16ページ参照

## 一般

- 2 大管長会メッセージ  
— 子供を教える 第一副管長 トーマス・S・モンソン
- 8 障害を持つ子供を育てる マーリーン・S・ウィリアムズ
- 16 ただ一人の生存者 ジョエリ・カロウガタ
- 20 永遠の規範を確立する 七十人会長会 アール・C・ティンギー
- 25 家庭訪問メッセージ— 謙遜になることを通して主の愛を感じる
- 26 末日聖徒の声  
わたしは無神論者でした ニコル・ジャーム  
雪の中の飛行 W・ワード・ホルブルック  
主の手に支えられ テリー・フリー・ペパー
- 48 家族を強める  
家族とは何でしょうか  
「家族—世界への宣言」

けんそん  
「謙遜になることを  
通して主の愛を感じる」  
25ページ参照



「ガーナに集う」  
13ページ参照

## 青少年

- 13 ガーナに集う  
マイケル・カークパトリック、マージド・カークパトリック
- 30 質疑応答— 主はなぜわたしの決意を認めて、この誘惑を取り除いて  
くださらないのでしょうか。
- 33 ポスター— 夢がかなう日
- 34 永遠の愛 ジャネット・トーマス
- 39 神殿結婚の計画を立てる
- 42 正しいデート 結婚に向けた穏やかな航海のために スーザン・W・タナー
- 47 御存じでしたか

## フレンド

- F2 預言者の声— 神聖な神権の祝福 第二副管長 ジェームズ・E・ファウスト
- F4 分かち合いの時間— よげんしゃにしたがう シーラ・E・ウィルソン
- F6 ヒーバー・J・グラントだいかんちょうのしょうがいから— はたらきもの
- F8 わたしの福音の標準
- F10 小さなお友だちへ— 正しい望み
- F12 初等協会のキルト チェルシー・エリソン、ウェンディー・エリソン
- F15 特別な証人— 正直 十二使徒定員会 デビッド・B・ヘイト
- F16 歌— 悔い改め シルビア・K・ロイド、ロバート・P・マヌーキン



# 世界への宣言

末日聖徒イエス・キリスト教会  
大管長会ならびに十二使徒評議会

**わ**たしたち、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長会と十二使徒評議会は、男女の間の結婚は神によって定められたものであり、家族は神の子供たちの永遠の行く末に対する創造主の計画の中心を成すものであることを、厳粛に宣言します。

**す**べての人は、男性も女性も、神の形に創造されています。人は皆、天の両親から愛されている霊の息子、娘です。したがって、人は皆、神の属性と神聖な行く末を受け継いでいます。そして性別は、人の前世、現世および永遠の状態と目的にとって必須の特性なのです。

**前**世で、霊の息子、娘たちは神を知っていて、永遠の御父として神を礼拝し、神の計画を受け入れました。その計画によって、神の子供たちは肉体を得ることができ、また、完成に向かって進歩して、最終的に永遠の命を受け継ぐ者としての神聖な行く末を実現するために、地上での経験を得られるようになったのです。神の幸福の計画は、家族関係が墓を超えて続くことを可能にしました。聖なる神殿において得られる神聖な儀式と聖約は、わたしたちが個人として神のみもとに帰り、また家族として永遠の一つとなることを可能にするのです。

**神**がアダムとエバに授けられた最初の戒めは、彼らが夫婦として親になる能力を持つことに関連したものでした。わたしたちは宣言します。すなわち、増えよ、地に満ちよ、という神の子供たちに対する神の戒めは今なお有効です。またわたしたちは宣言します。生殖の神聖な力は、法律に基づいて結婚した夫婦である男女の間においてのみ用いるべきです。

**わ**たしたちは宣言します。この世に命をもたらす手段は、神によって定められたものです。わたしたちは断言します。命は神聖であり、神の永遠の計画の中で重要なものです。

**夫**婦は、互いに愛と関心を示し合うとともに、子供たちに対しても愛と関心を示すという厳粛な責任を負って

います。「子供たちは神から賜<sup>たま</sup>わった嗣業<sup>しぎょう</sup>であり」(詩篇 127:3)とあります。両親には、愛と義をもって子供たちを育て、物質的にも霊的にも必要なものを与え、また互いに愛し合い仕え合い、神の戒めを守り、どこにいても法律を守る市民となるように教えるという神聖な義務があります。夫と妻、すなわち父親と母親は、これらの責務の遂行について、将来神の御前で報告することになります。

**家**族は神によって定められたものです。男女の間の結婚は、神の永遠の計画に不可欠なものです。子供たちは結婚のきずなの中で生を受け、結婚の誓いを完全な誠意をもって尊ぶ父親と母親により育てられる権利を有しています。家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るときに達成されるに違いありません。実りある結婚と家庭は、信仰と祈り、悔い改め、救<sup>すく</sup>済、尊敬、愛、思いやり、労働、健全な娯楽活動の原則にのっとり確立され、維持されます。神の計画により、父親は愛と義をもって自分の家族を管理しなければなりません。また、生活必需品を提供し、家族を守るという責任を負っています。また母親には、子供を養育するという主要な責任があります。これらの神聖な責任において、父親と母親は対等のパートナーとして互いに助け合うという義務を負っています。心身の障害や死別、そのほか様々な状況で、個々に修正を加えなければならないことがあるかもしれません。また、必要なときに、親族が援助しなければなりません。

**わ**たしたちは警告します。貞節の律法を犯す人々、伴侶や子供を虐待する人々、家族の責任を果たさない人々は、いつの日か、神の御前に立って報告することになります。またわたしたちは警告します。家庭の崩壊は、個人や地域社会、国家に、古今の預言者たちが預言した災いをもたらすことでしょう。

**わ**たしたちは、全地の責任ある市民と政府の行政官の方々に、社会の基本単位である家族を維持し、強めるために、これらの定められた事柄を推し進めてくださるよう呼びかけるものであります。

末日聖徒イエス・キリスト教会公式機関誌(日本語版)  
大管長会:ゴードン・B・ヒンクレー、トーマス・S・モンソン、  
ジェームズ・E・ファウスト

十二使徒定員会:ボイド・K・バックナー、L・トム・ベリール、デビッド・B・ヘイト、ニール・A・マックスウェル、ラッセル・M・ネルソン、ダリン・H・オークス、M・ラッセル・バラード、ジョセフ・B・ワースリン、リチャード・G・スコット、ロバート・D・ヘイルズ、ジェフリー・R・ホランド、ヘンリー・B・アイリング

編集長:ジェイ・E・ジェンセン

顧問:E・レイ・ペイトマン、モンティ・J・ブラフ、スティーブン・A・ウェスト

実務運営ディレクター:デビッド・フリッシュニク

企画編集ディレクター:ピクチャー・D・ケーブ

グラフィックスディレクター:アラン・R・ロイボーグ

機関誌編集ディレクター:リチャード・M・ロムニー

編集主幹:マービン・K・ガードナー

編集スタッフ:コレット・ネベカー・オース、スーザン・パレット、シャナ・ハトラ、ライアン・カー、リンダ・ステール・クーパー、マリオン・ポーター、ガートン、ジェニファー・L・グリーンウッド、R・バル・ジョンソン、キャリー・カステン、メルビン・リービッド、サリー・J・オデカー、アダム・C・オマン、ジュディス・M・バーラー、ビビアン・ポールセン、ドン・L・サール、レベッカ・M・テラー、ロジャー・テリル、ジャネット・トーマス、ポール・バンデンバーグ、ジュリー・ワーテル、ケンバリー・ウェッブ、モニカ・ウーグス

実務運営アートディレクター:M・M・カワサキ

アートディレクター:スコット・バン・カンペン

制作主幹:ジェーン・アン・ピーターズ

デザイン・制作スタッフ:クリー・アレンプラット、ハワード・G・ブラウン、トーマス・S・チャイルド、レジナルド・J・クリステンセン、キャスリーン・ハワード、デニス・カービン、タット・R・ピーターソン、ランドール・J・ピグストン、カリ・A・トッド、クラウディア・E・ワナー

マーケティング部長:ラリー・ヒラー

印刷ディレクター:クレグ・K・セジウィック

配送ディレクター:クリス・T・クリステンセン

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙(でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振替口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会  
〒106-0047東京都港区南麻布5-10-30  
電話 03-3440-2351

定価 年間予約/海外予約 2,400円(送料共)  
半年予約 1,200円(送料共)  
普通号/大会号 200円

「リアホナ」への投稿およびご質問は、下記の連絡先にお送りください。  
Room 2420, 50 East North Temple Street,  
Salt Lake City, UT 84150-3220, USA  
電子メール:cur-liahona-imag@ldschurch.org

「リアホナ」(モルモン書)に出ている言葉、「羅針盤」または「指示器」の意は、以下の言語で出版されています。

アイスランド語、アルメニア語、アルメニア語、イタリア語、インドネシア語、ウクライナ語、英語、エストニア語、オランダ語、韓国語、カンボジア語、キリバス語、クロアチア語、サモア語、シンハラ語、スウェーデン語、スペイン語、スロベニア語、セブア語、タイ語、タガログ語、タヒチ語、タミル語、中国語、チェコ語、テルグ語、デンマーク語、ドイツ語、トンガ語、日本語、ルウェー語、ハイチ語、ハンガリー語、フィンランド語、フィリピン語、フランス語、ブルガリア語、ベトナム語、ポーランド語、ポルトガル語、マラヤラム語、マダガスカル語、モンゴル語、ラトビア語、リトニア語、ルーマニア語、ロシア語。(発行頻度は言語により異なります。)

©2004 Intellectual Reserve, Inc. 著作権所有。印刷:日本  
「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において臨時に、また非営利目的に使用する場合は複製することができます。視覚資料に関しては、作品のクレジットに制限が記されている場合に複製できないことがあります。ご質問は、Intellectual Property Office, 50 East North Temple Street, Salt Lake City, UT 84150, USAに郵送するか、電話—1-801-240-3959, 電子メール—cor-intellectualproperty@ldschurch.org. にご連絡ください。  
英語版承認—1996年8月 翻訳承認—1996年8月  
原題—International Magazines October 2004.  
Japanese, 24990 300

「リアホナ」は、教会のホームページwww.lds.org (英語)に様々な言語で掲載されています。英語の場合は「Gospel Library」(福音図書館)をクリックしてください。その他の言語は世界地図をクリックしてください。

For Readers in the United States and Canada:  
October 2004 no.10 LIAHONA (USPS 311-480) Japanese (ISSN 1521-4729) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 East North Temple, Salt Lake City, UT 84150, USA. Subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$16.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah, and at additional mailing offices. Sixty days notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions and queries to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, PO Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

「リアホナ」の活用法

# 家庭の夕べのための アイデア



### ●「家族——世界への宣言」

裏表紙の内側——「家族——世界への宣言」は、1996年1月号の『聖徒の道』と1995年11月号の『エンサイン』(Ensign)誌上で初めて発表されました。大管長会と十二使徒定員会によるこの宣言は、家族に関する天の御父の教義を明らかにするものです。家族と一緒に一度この宣言を読んでください。そして、神の靈感による宣言の中に示された助言に、家族がさらによく従えるように、どのような目標を設定することができるか話し合ってください。

### ●「永遠の規範を確立する」

20ページ——アール・C・ティンギー長老は、主が用意しておられる豊かな祝福を享受するために、若者が身に付けるべき6つの規範について論じています。これについて子供たちと話し合ってください。どのようにすれば、これらの規範を自分自身の生活にさらに根付かせることができるか子供たちに尋ねましょう。

### ●「正しいデート」

42ページ——10代の子供がいる家庭では、男女が堅固で永続性のある関係を築くための原則について話し合う必要が出てくるでしょう。まず友情をはぐくまなければならないこと、また適切な時と条件が整うまで恋愛関係に発展させるべきではないことを、子供たちが理解できるよう助けましょう。

### ●「質疑応答」

30ページ——自分ならこの質問にどのように答えるか、家族に尋ねてください。その後、掲載されている意見について話し合しましょう。

### ●「神聖な神権の祝福」

F2 ページ——虫眼鏡があればレッスンで使い、実際に物が大きく見えることを示します。虫眼鏡のように、神権の祝福によってわたしたちの才能や理解力が広がるのです。

### ●「はたらきもの」

F6ページ——ヒーバー・J・グラント大管長の人生で起こったある出来事について、家族で読みましょう。グラント大管長のような働き者となるために、家庭や地域でどのようなことができるか、子供たちに尋ねてください。よく働く人のことを話して聞かせ、熱心に仕事に取り組むときに与えられる祝福について家族で話し合しましょう。

## 今月号に採り上げられているテーマ

Fは「フレンド」の略、ibclは裏表紙の内側の略	
愛	25, 34, 47
仕事	20, F6
安息日	20
しゅうぎん 十分の一	20
イエス・キリスト	25
純潔	20, 42
祈り	2, 26
障害	8
教え	1, 2
正直	F15
親の務め	
	初等協会 F4, F12
	2, 8, 48, ibc
	神権の祝福 F2
音楽	26, F16
	神殿 13, 34, 39
改心	16, 26
	総大会 26, F4
家族	2, 48, ibc
	備え 20, 39
家庭の夕べ	1
	知恵の言葉 26
家庭訪問	25
	懐み深さ 47
教育	20, 31
	伝道活動 16, F10
求愛期間	34, 42
	バプテスマ 16
悔い改め	30, F16
	標準 20, 42, F8
結婚	20, 33, 34, 39,
	ホームティーチング 7
	42, 47, 48, ibc
	友情 42, 47
けんそん 謙遜	25
	誘惑 30
子供	2, 8, 48, ibc
	預言者 F4, F6



# 子供を教える

## 第一副管長

トーマス・S・モンソン

**イ**エスの少年時代に関する記録はほとんど残っていません。イエスの降誕が歴史を変える大きな出来事であったため、少年時代の記録はそれほど重要でないと考えられる人もいます。しかし、ヨセフとマリヤのもとを離れて行方が分からなくなった少年が神殿で見つかったときに、その少年イエスが円熟した知恵を持っておられたことを知って、わたしたちは驚きを覚えます。イエスは「教師たちのまん中にすわって」<sup>1</sup>福音を説いておられました。マリヤとヨセフが行方の分からなくなったことを心配していたと言うと、イエスは深遠な質問を両親に投げかけられました。「わたしが自分の父の務めを果たしているはずのことを、ご存じなかったのですか。」<sup>2</sup>

神聖な記録はイエスについて次のように宣言しています。「イエスはますます知恵が加わり、背丈も伸び、そして神と人から愛された。」<sup>3</sup>別の記録には少年から大人へと成長していかれる様子がわずかながら記されています。イエスは「よい働きをしながら、……巡回されました。」<sup>4</sup>

世界はイエス・キリストによって一変しました。神聖な贖罪<sup>しよくざい</sup>が行われ、罪の代価が支払われました。死の恐怖は真理の光と復活の実現に

よって支配の座を明け渡すことになりました。イエスの降誕、務め、そしてイエスが残されたものは、その後多くの年月を経た現在に至るまで、イエスの強い勧めを受け入れてイエスに従うすべての人々の行く末を導くものとなっています。

毎日、いや毎時間のように、子供たちが生を受けてこの世にやって来ます。母親たちは神の手を握り締め、死の陰の谷に近づくという危険を冒しながら、この世に生をもたらしめています。息子、娘を産むことによって家族と家庭、別の表現をすれば地上の一部に恵みをもたらしているのです。

新生児の期間は一日一日が大切です。この時期に母親と父親そして息子または娘の間にきずなが築かれます。両親は子供がほほえむ度にそれに気づき、子供の恐れをすべて取り去り、子供の空腹を満たします。子供は少しずつ成長します。子供は「地上に人類の花を咲かせるために、神の家から降りて来たばかりの咲きたての甘い花」<sup>5</sup>であると、ある詩人は表現しています。

子供はますます知恵が加わり、背丈も伸びます。その際、義になかった親の指導があれば理想的です。子供のために最優先しなければならぬことは子供自身の学習と行動です。

子供が大きくなるまで先延ばしにできると考えて、親としての責任を回避している人々が



**ヨセフとマリヤのもとを離れて行方が分からなくなった少年が神殿で見つかったときに、その少年イエスが円熟した知恵を持っておられたことを知って、わたしたちは驚きを覚えます。イエスは「教師たちのまん中にすわって」福音を説いておられました。**

ます。しかしそれは間違いであることが証明されています。教えるのに最も適した期間は非常に短いのです。その機会をほうっておくと失われてしまいます。教師としての責任を履行せずに引き延ばしている親は、後になって、ウィットニアが指摘した苦汁をなめることになるでしょう。「あのときあおし  
ていれば今ごろは……。舌が語りペンがつぶる悲しい言葉の中で、これほど悲しい言葉はない。」<sup>6</sup>

著名な作家であり、高名な科学者であるグレン・ドーマン氏は長年にわたって行ってきた調査の結果をこのように報告しています。「生まれてから6年間に子供の脳裏に刻み込まれた事柄はいつまでも残ることになるでしょう。……この期間に誤った情報を入れてしまうと、それを消すことはきわめて困難です。」<sup>7</sup>

このような事実について知れば、どの親も、決意を新たに言うことでしょう。「わたしは父親としての務めを果たさなければならない。」子供たちは愛のこもった導きと説得力のある教えを通じて学ぶものです。子供たちは手本とすべき模範、習得すべき知識、なすべき事柄、喜ばすべき教師を探し求めています。

この教師の役割を果たすのは両親と祖父母です。兄や姉も同様の働きをします。子供たちの教師の立場にある皆さんに、4つの簡単な事柄を提案したいと思います。これらについて真剣に考えてください。

1. 祈ることを教える
2. 信仰を鼓舞する
3. 真理に従って生きる
4. 神を敬う

第1は、「祈ることを教える」です。

「祈りは子供も言える言葉

天の主<sup>と</sup>に届く、  
尊<sup>と</sup>き歌」<sup>8</sup>

祈りは実際に祈らなければ学ぶことができません。どれほど時間をかけて他人の経験を調べたとしても、自分で熱心に祈り、天からその答えを受けること以上に、心が刺し貫かれる経験は得られないのです。

少年サムエルが示した模範はまさしくこれでした。若きニーファイが経験した事柄もそうでした。重大な意味と影響をもたらすことになった少年ジョセフ・スミス<sup>の</sup>祈りもそのような祈りでした。祈りをささげることによって、そのような祝福を受けることができるのです。祈ることを教えてください。

第2は、「信仰を鼓舞する」です。

わたしたち一人一人は、初期の開拓者から多くのことを学

べます。彼らは苦闘と心痛の中であって、常に確固とした勇氣と生ける神への揺るぎない信仰を持っていました。何年も前、大管長のお父さんであるブライアント・S・ヒンクレーは『わたしたちの父祖である開拓者の信仰』(The Faith of Our Pioneer Fathers)と題する1冊の本を著しました。開拓時代の様々な出来事を詳しく記録した本です。このような本を通して、あらゆる地に住む会員が、開拓者からの受け継ぎを思い起こすことができます。手車を引いたり押したりして、あるいは徒歩で道なき道を旅した大勢の開拓者の中には、若人<sup>こんにち</sup>や子供もいました。同様に、今日、世界各地で開拓者としてこの業を推し進めている聖徒の中にも若人<sup>こんにち</sup>や子供がいます。初期の開拓者の話に心を打たれたことのない教会員は一人もいないのではないかと思います。すべての会員の益のために非常に多くを行ったこれらの開拓者は、信仰を鼓舞するという目標を心に秘めていました。彼らは立派にその目標を達成しました。

第3は、「真理に従って生きる」です。

時として、真理に従うことは、家族や親しい友人とともにいるときに最も効果的に学ぶことができます。

高潔な中央幹部であった故H・バーラン・アンダーセン長老(1914-1992年)の葬儀の席で、長老の息子さんが追悼の言葉を述べました。それは、どこに住んでいるかまた何をしているかにかかわらず、あらゆる人に当てはまる、すばらしい経験談です。

アンダーセン長老の息子さんが話してくれたのは、何年も前のある土曜日の夜、学校が主催したパーティーにガールフレンドと出席したときの話でした。彼は父親から車を借りました。鍵<sup>かぎ</sup>を受け取ってドアに向かおうとすると、父親から声をかけられました。「明日までにはガソリンがなくなるだろうから、帰る前に忘れずに満タンにして来ておくれ。」

アンダーセン長老の息子さんはそれから、その晩のパーティーがどれほどすばらしいものだったかを話しました。友達が集まり、軽い食事が出て、参加者全員が楽しいひとときを過ごしました。けれども、パーティーがあまりに楽しかったために、家に帰るまでに車にガソリンを入れておくように、という父の言い付けをすっかり忘れてしまいました。

日曜日の朝早く、アンダーセン長老は、ガソリタンクが空になったままであることに気づきました。アンダーセン家では、安息日は礼拝と感謝の日であって、物を買う日ではありませんでした。アンダーセン長老の息子さんはこう言いました。「父はコート<sup>の</sup>を羽織り、家族に出かけることを告げると、早朝に開かれる集会に出席するために、教会までの長い道のりを歩いて出かけました。」果たさねばならない義務があったのです。長老は自分の都合のために真理を曲げようとはしませんでした。



アンダーセン長老の息子さんはこのように話を締めくくりました。「あのときのわたしほど、父親の教えを心に深く刻み込んだ息子はいないと思います。父は真理を知っていただけでなく、真理に従って生きました。」わたしたちも真理に従って生きようではありませんか。

最後は、「神を敬う」です。

この目標に忠実に生きることに関して、主イエス・キリストをしのぐほどの模範を示すことのできる人はいません。ゲツセマネでの主の熱心な祈りにそのすべてが表されています。「父よ、みこころならば、どうぞ、この杯<sup>さかずき</sup>をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの思いではなく、みこころが成るようにしてください。」<sup>9</sup> ゴルゴタの十字架上で示された主の模範は、多くのことを語っています。主はこう言われました。「父よ、彼らをおゆるしください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです。」<sup>10</sup>

マタイによる福音書に記録されているように、主は耳を傾けるあらゆる時代のすべての人々に対して、簡潔ではありますが深遠な真理を教えておられます。イエスは弟子たちと変貌の山を下りてからガリラヤにしばらく滞在した後、カナナムへ行かれました。弟子たちはイエスに尋ねました。「『いったい、天国ではだれがいちばん偉いのですか。』

すると、イエスは幼な子<sup>おきなご</sup>を呼び寄せ、彼らのまん中に立たせて言われた、

『よく聞きなさい。心をいれかえて幼な子のようにならなければ、天国にはいることはできないであろう。』

この幼な子のように自分を低くする者が、天国でいちばん偉いのである。

また、だれでも、このようなひとりの幼な子を、わたしの名

のゆえに受けいれる者は、わたしを受けいれるのである。』<sup>11</sup>

イエスは地上に来るために最近前世から送られてきたばかりの幼子<sup>おきなご</sup>を深く愛されたということにわたしは大きな意義があると思います。当時の子供たちも今日の子供たちも、わたしたちの生活を祝福し、愛の光をともし、善を行うように促しています。

詩人ワーズワースが人の誕生をこのように詠んだとしても、何の不思議があるでしょうか。

「栄光の雲を曳きつつ、  
われらの故郷なる神のもとより  
来たりぬ。

われらの幼けなきとき、天国は  
われらのめぐりにありき。」<sup>12</sup>

**日** 曜日の朝に  
なりました。  
ガソリタンク  
は空になって  
いました。  
アンダーセン長老は  
コートを羽織り、  
家族に出かけることを  
告げると、教会までの  
長い道のりを  
歩いて出かけました。

わたしたちの態度、心の奥底に宿る信念が築かれるのは、家庭においてです。希望がはぐくまれるのも、あるいは、破壊されるのも、家庭においてなのです。スチュアート・E・ローゼンバーグ博士はその著書『信頼への道』(The Road to Confidence)の中で、次のように記しています。「新しい発明や近代的な考え方が次々に人々の間に浸透し、もてはやされていますが、だれも自分の家族に代わるものを発明することはできませんでした。また今後もそのようなものを発明できないでしょう。」<sup>13</sup>

わたしたち自身も自分の子供や孫たちから学ぶことができます。彼らは恐れを知りません。天の御父が自分たちを愛しておられることにいささかの疑いも抱きません。イエスを愛し、イエスのようになりたいと思っています。

わたしの孫ジェフリー・モンソン・ディブが6歳だった時のことです。ジェフは自宅で同じく6歳の友達と遊んでいました。小さなテーブルの前で立ち止まった友達は、テーブルの上にあったジェフリー・R・ホランド長老の写真に気づいて尋ねました。「この人はだれなの?」

ジェフは答えました。「ああ、それはね、十二使徒定員会のジェフリー・ホランド長老だよ。ホランド長老は、ぼくの名前をもらったんだよ。」

ホランド長老に名前を上げたというこのジェフリーは、ある日、友達と二人で散歩に出かけました。二人は一軒の家の玄関前に立ちました。だれが住んでいるのか、教会員かどうかもお構いなく、二人は玄関のドアをノックしました。すると、一人の女性が出て来ました。ジェフ・ディブはまったくためらうこともなくこう言いました。「ぼくたちはホーム訪問教師です。入っていいですか。」二人は居間に案内され、ソファに腰かけるように勧められました。子供たちはそれが当然のことであるかのように、女性に言いました。「ぼくたちのために何かおやつはありますか。」このように言われて用意しないわけにはいきません。彼女はおやつを出しました。そして楽しい語らいの時を過ごしました。こうして、なりたての若い「ホーム訪問教師」たちは心からのお礼を言って、帰ることにしました。

「また来てくださいね」とその女性は笑みを浮かべながら声をかけてくれました。

「もちろん」と二人は返事をしました。

その出来事は子供たちの両親の耳に入りました。彼らは決して幼い子供たちをしかったりはしなかったと思います。両親は「小さいわらべに導かれ」<sup>14</sup> という聖文の言葉思い起こしたことでしょう。

子供たちが楽しそうに遊んで笑い声を上げているのを聞くと、子供たちには悩みも悲しみもないのではないかと思うことがあります。しかし、そうではありません。子供たちの心は繊

細です。ほかの子供たちと一緒に遊ぶのを非常に強く望んでいます。ロンドンの有名なビクトリア・アルバート美術館には1枚の名画が掛けられています。「病気と健康」(Sickness and Health)という簡潔な題名です。車いすに座った一人の小さな女の子が描かれています。青白い少女の顔には、悲しみが表れています。少女の視線の先では、手回しオルガンの奏者が奏でる音楽に合わせて二人の少女が無邪気に楽しそうに、戯れ、踊っています。

不幸と悲しみは子供を含め、すべての人を襲います。けれども子供たちはすぐに元気になります。子供たちは課せられた重荷を背負って見事に耐えています。恐らく詩篇のすばらしい1節はこの徳を描写しているのでしょう。「夜はよすがら泣きかなしんでも、朝と共に喜びが来る。」<sup>15</sup>

ここで、そのような出来事を紹介したいと思います。遠くルーマニアのブカレストの児童養護施設でボランティア活動をしているリン・オボーン博士は、生まれてこのかた一度も歩いたことのないレーモンド少年に足の動かし方を教えようとしていました。レーモンドは生まれつきひどく足が曲がっていて、そのうえ全盲でした。最近、オボーン博士が行った形成外科手術で足は矯正されましたが、レーモンドは依然として足を動かすことができませんでした。オボーン博士は、子供用の歩行器があればレーモンドが自分の足で立てることを知っていましたが、そのように小さな歩行器はルーマニア中どこを探してもありませんでした。少年用の歩行器がないながらも、歩行訓練のためにあらゆる手を尽くしたこの博士は熱心に祈ったことでしょう。盲目は子供にとって大きなハンディですが、それ以上に、歩いたり、走ったり、遊んだりできないと、子供の大切な心は傷つくことがあります。

さて、ここで場面はユタ州プロボに変わります。ルーマニアの惨状を知ったリチャード・ヘッドリー家族は、40フィート(約12メートル)のコンテナに4万ポンド(約18トン)

**ジェフは  
まったく  
ためらうこと  
もなくこう言いました。  
「ぼくたちは  
ホーム訪問教師です。  
入っていいですか。」**



に上る食糧、衣類、医薬品、毛布、おもちゃなどの生活必需品を積んでルーマニアに送る運動に参加しました。やがてこの運動の最終日が来ました。コンテナはその日に送られる予定でした。運動の参加者は、子供用の歩行器が必要なことを知る由もありませんでした。けれども、積み込み作業が終了する直前に、ある家族が子供用の歩行器を持って来てコンテナに積み込みました。

ブカレストの児童養護施設に待ちに待ったコンテナが到着しました。コンテナの扉を開けると、オボーン博士もその場に来ていました。コンテナに積み込まれていたものはすべて、児童養護施設ですぐに必要なものでした。貨物とともに施設を訪れたヘッドリー家族がオボーン博士に自己紹介をすると、博士はこう言いました。「できれば、レーモンドのために子供用の歩行器を持って来ていただくよかったです。」

するとヘッドリー家の一人が答えました。「確か歩行器のようなものが入っていると思います。サイズは分かりませんが。」ヘッドリー家のもう一人が衣類や食糧の束をかき分けながらコンテナの奥に入って、歩行器を探しました。そして、歩行器を見つけると、それを持ち上げて、「子供用です」と叫びました。一斉に拍手喝采が起こり、それはすぐに涙に変わりました。そこにいた全員が現代の奇跡に携わることができたと感じたからでした。

「現代に奇跡は起きない」と言う人がいるかもしれません。けれども、祈りが聞き届けられた博士はこう答えるでしょう。「いいえ、奇跡は起きます。レーモンドが歩いているのですから。」歩行器をコンテナに載せるべきだという靈感を受け、進んで主の器となった女性も、博士の言葉にきっと同意することでしょう。

主の導きにより、慈しみの天使となり、この感動的なドラマで大切な役割を演じたこの女性はだれでしょうか。彼女の名前はクリスティンといます。クリスティンと妹のエリカは、生まれたときから脊椎破裂という障害を背負っていました。二人は長い間入院して、不安な夜を過ごしました。しかし、近代医学による治療が功を奏し、天の御父の助けを受けて、二人ともある程度体を動かせるようになりました。二人には少しも暗いところがありません。むしろ、忠実に堪え忍ぶよう周囲の人を励ましています。クリスティンは現在大学生で、独り暮らしをしています。エリカは元気な高校生です。

わたしは、ルーマニアに自分の歩行器を送ったクリスティンと、かつて話す機会がありました。「主の御霊に耳を傾けてくれてありがとう。あなたは、博士の祈りと少年の願いにこたえるために、主の御手に使われる者として働きましたね。」

その後でわたしは、この時代の子供たち、家族、そして奇跡について、神に心からの感謝をささげました。

「幼な子らをわたしの所に来るままにしておきなさい。止

めてはならない。神の国はこのような者の国である」と言われた主の指示に熱心に従おうではありませんか。<sup>16</sup>

父なる神は、貴い幼子たちを地上で世話する責任を、わたしたちに託してられました。そのような子供たちに、祈りを教え、信仰を鼓舞し、真理に従って生き、神を敬うことを教えることができますように。そうしてこそ、わたしたちは天国のような家庭と永遠の家族を持つことができるのです。これ以上の賜物を願うことができるでしょうか。これ以上の祝福を祈り求めることができるでしょうか。■

#### 注

1. ルカ2:46
2. 欽定訳ルカ2:49から和訳
3. ルカ2:52
4. 使徒10:38
5. ジェラルド・マシー “Wood and Won” *The HomeBook of Quotations*, パートン・ステイブンソン選(1934年), 121
6. ジョン・グリーンリーフ・ウィットティア “Maud Muller” *The Complete Poetical Works of Whittier* (1892年), 48, 強調付加
7. *How to Teach Your Baby to Read*(1964年), 46-47
8. 「祈りは魂の」『賛美歌』83番
9. ルカ22:42
10. ルカ23:34
11. マタイ18:1-5
12. 田部重治訳, ウィリアム・ワーズワース「幼年時代を追想して不死を知る頌」『ワーズワース詩集』167, 岩波文庫
13. *The Road to Confidence* (1959年), 121
14. イザヤ11:6
15. 詩篇30:5
16. マルコ10:14

## ホームティーチャーへの提案

よく祈って準備した後、あなたが教える人々の参加を促すような方法を用いて、このメッセージを分かち合ってください。幾つかの例を以下に紹介します。

1. 開拓者の旅とその苦難について簡潔に話す。今日の開拓者と呼べるような人を知っているか家族に尋ねる。これらの信仰の模範からどのようなことが学べるか尋ねる。

2. アンダーセン長老が息子に示した模範の実例について簡潔に話す。親や教師が良い模範を示してくれたときのことを覚えているか、家族に尋ねる。

3. ルーマニアに自分の歩行器を送ったクリスティンの話をする。知っている人の中で、受けた靈感に従って人の生活に祝福をもたらしたことのある人について、話してもらおう。

# 障害を持つ 子供を育てる

マーリーン・S・ウィリアムズ  
ブリガム・ヤング大学カウンセリング心理学准教授

**娘**のニッキを初めてこの腕に抱いたときのことを今も覚えていています。愛らしく、申し分のない子供でした。わたしの胸は、娘を育てていく中でかなえていくべきな夢でいっぱいでした。好きな本や音楽、芸術を娘と分かち合える日が待ち遠しく、娘の才能や能力を伸ばすためなら、どんな努力も惜しむまいと思いました。

そのときのわたしは、娘が小学4年生レベルの読解力しか持たず、簡単なひとけたの計算しかできず、運転もできるようにならないなどとは思いませんでした。医学検査や心理テストを何度も受け、恐れや焦燥感に満ちた6年が過ぎた後、ようやくわたしはニッキに知的障害があることを知ったのです。

障害のある子供を持つことに順応していくのは、一瞬でできるものではなく、時間がかかります。一般に子供の1割は何らかの障害や長期にわたる慢性病を抱えています。障害を持って生まれて来ることはまれなことではありません。しかしほとんどの親は、「お子さんには重度の障害があります」と宣告される準備ができていないのです。混乱や物理的要求、子供の振る舞いに関する問題、特別にかかる費

用、当惑や孤独感など、様々な事柄に対処できるようになるには時間がかかるものです。そのような過程を経験した人、あるいは今もその渦中にいる人たちに伝えたいのは、皆さんの反応はごく正常だということです。

## ショック

自分の子供に障害があるということを知らされても、最初はそれを理解するのが非常に難しく思えます。「所見」という言葉の意味を理解するのにさえ時間が必要です。わたしたちは皆、知的障害、あるいは精神障害を持つ子供に対して、特定のイメージや固定観念を抱いています。そのため、特に子供が正常であるように見えるときには、所見と親から見た子供の様子とが一致しないように感じることもあるのです。障害について学ぶのは助けになります。子供の持つ障害の特徴についてできるかぎり知るようにしてください。特定の障害に関する専門的な組織など、信頼できる筋から情報を得てください。

## 否定

人は、耐え切れない、対処できないと感じると、事実を否定しようとします。それは、心理的な防御のメカニズムです。これはある意味で助けになります。否定することで、事実を少しずつ受け入れられるようになり、耐えやすくなるからです。否定は、多くの場合恐れから来



わたしが  
気づいた  
最も素晴らしい  
ことの一つは、  
娘の霊には  
障害がない  
ということです。

ます。将来への不安から来る恐れや、子供が家族にどのような影響を与えるのだろうかという心配から来る恐れなどがあります。否定することで、必死に解決策を探し始めます。良い医者、良い薬、良いプログラム、良い学習方法さえ見つかれば、子供は「正常」になると信じ込むのです。こうして探し求めることは、子供や親、家族の助けになる手段を得ることにつながる場合もあるため、ある意味では有益です。しかし遅かれ早かれ、親であるあなたは子供の能力の限界を直視し、障害を取り除くことはできないという現実を受け入れなければなりません。同様に、障害を人のせいにするのもやめなければなりません。

## 不安

障害という現実を認めると、不安を感じるようになります。不安は、身体が恐れに反応して、必要な準備をしているのです。巨大な猛獣が部屋に入って来るとしたら、人は恐らく不安になるでしょう。身体にはアドレナリンが分泌され、戦いや逃亡に備えるか、あるいはじっと固まってしまう。これらは、人が何らかの形で脅かされたときに通常示す反応です。この子には特別な世話や庇護が必要だと気づくにつれて、不安から来るエネルギーによって様々な準備をすることができるのです。情報を入手してください。障害のある子供を抱



えるほかの親と話してください。祈り、神権指導者と話してください。専門家の助けを得てください。無力感を軽減するような活動は、不安から生じるエネルギーを使う良い方法です。自分に注意を払うことも、不安をコントロールするためには大切です。十分な睡眠を取り、正しい食生活を心がけ、リラックスし、生活を楽しめるような活動の時間を取りましょう。時には、障害を持つ子供の世話をすると  
いう重責から離れ、休みを取ることも必要です。

### 罪悪感

この世は公平にできていると信じる人は、不必要な罪悪感を抱くことがあります。わたしたちは、世の中の出来事が予測可能であり、コントロールできるものだと信じようとしています。このように信じることで、恐れを感じずに済むのです。悪いことは悪い人に起こり、良いことは善い人に起こるのだと思い込もうとします。これは一見正しいことのようにです。しかし、このように信じていると、何か悪いことが自分の身に起きたときに、自分にも非があると考えてしまうのです。悪意はないにしても他人の心ない言葉が引き金になって、このような感情を抱くことがあります。例えば、「きっと、あなたの救いのために、こういう特別な経験が必要だったのよ」という言葉によって、両親は不必要な罪悪感を抱き、心を痛めます。そしてこう考え始めます。「どうしてわたしにこんなことが起こるのだろう。このような大変な経験を通して成長しなければならぬほど、自分はだめな人間なのだろうか。わたしはただ、善い親になりたかっただけなのに。」また、あなたのどんな行いが「間違い」だったのか分かりさえすれば、同じような経験をせずに済むと信じる人たちからも、あれこれ聞かれるかもしれません。

必要なのは、心痛む出来事に関して、あなた自身が霊的な意味を見つけることであり、なぜこんなことが起こったのかという疑問への答えを押しつけようとする人々に、その余地を与えないことです。完全に理解するには何年もかかりますし、この世では答えが得られないこともあります。ただ、天の御父が愛の神であられ、あなたに罰を与えるのを喜びとはされないことを信じてください。そうするならば、あなたが直面している試練により正しい意味を見いだすことができるでしょう。

### 悲しみと苦悩

何かを失うと強い感情がわき起こります。障害を持つ子供が生まれたことで、自分が育てようと思いついていた子供を失ってしまったような気がするかもしれません。思い描いていた理想の家族像を失ったことについても、深い悲しみを覚えることでしょう。言うまでもなく、理想の家族という定義を書き換える必要も出てくるでしょう。

わたしがまだ若く、4人の子供の母親だったころ、夫は監督をしていました。自分が理想としていた末日聖徒の家族に多少なりとも近づいている気がして、うれしかったのを覚えています。しかし、夫は癌で亡くなり、わたしは独りで子供を育てなければならなくなりました。大学へ戻り、学位を取って働く必要がありました。自分が抱いていた理想の末日聖徒の家族像を、描き直さなければならませんでした。わたしは後に6人の子供を持つ男性と結婚し、合わせて10人の子供のいる家族になりました。そのとき、もう一度理想の末日聖徒の家族像を描き直すことになったのです。

深く悲しんだ後に再び人生を歩み続ける方法を学ぶとき、力を増し加えることができます。心の痛みを受け止め、乗り越えることができると、感情的、霊的、そして心理的な能力を伸ばせるようになり、人生のほかの場面でも助けになります。悲しみを経験することによって、人の気持ちをさらに理解できるようになるのです。

### 怒り

わたしたちは、自分が何を不公平だと感じるかをよく理解する必要があります。障害を持つ子供を育てていると、人生の厳しい側面を間近に見ます。しかし、公平と正義に対して新しい見方を持つことで、怒りを抑えることができるのです。例えば、娘が10歳のとき、日曜学校のパーティーに出かけたことがありました。帰って来たときには擦り傷を負い、血がにじんでいました。クラスの男の子が娘のことを「ばかな知恵遅れ」と言い、突き倒したのです。子供を傷つけられたわたしは、怒りを覚えました。怒る気持ちは、何かをしなければならないというメッセージでもあります。怒りはわたしたちに、危険や問題、不快なことを自覚させ、軌道修正させてくれます。しかし、そのような感情に対してどのような行動を取るかは、自分で決めることができます。建設的な方法で怒りに対処することがで



**子供の取る  
問題行動は、単に  
ほかの問題に対応  
しようとしていること  
の表れであることが  
よくあります。  
わたしたちは、  
ニツキが眠ろうとせず、  
一晩中電気を  
つけておくといい  
間かなかったときに、  
そのことを  
学びました。**



**ニッキ(上——ダンスパーティーで、母、家族、おい、兄とともに)  
はわたしたちに、愛や親切、慈愛が、健常者のためだけに  
あるのではないことを教えてください。**

きるのです。

夫とわたしは、その少年の家族に会いに行きました。わたしたちは少年とその両親とともに座り、*知恵遅れ*という言葉が何を意味するのか穏やかに話し合いました。そして少年に、自分の好きなことがいろいろできないとしたらどう感じるかを尋ねました。その後、この少年は娘の強力な味方の一人になりました。結局この経験を通して、わたしたちはもう一人の人間の成長を助けることができたのです。わたしにとって、これは「公平」なことだと思えました。報復は正義を生み出すことはなかったでしょう。不公平を経験するときに怒りを感じることもあります。わたしたちはそれを、自分や周りの人にとって良い経験とすることができるのです。

### 宇宙の法則

障害を持つ子供は、日常的な行動や活動が行えるようになるまでに苦労します。感情表現を学ぶのはさらに難しいことです。欲求不満を感じるような経験を周りの子供たちよりも多くします。障害によって脳の機能に影響があると、子供にとって問題を論理的に考えることが難しくなります。この問題によって引き起こされる行動を、夫は「宇宙の法則」と呼ん

でいます。もしも言葉で表現できなければ、行動で表現するのです。つまり、言葉で表現できないことは、おなかが痛くなるなど、体で表現するのです。子供の取る問題行動は、単にほかの問題に対応しようとしていることの表れであることがよくあります。

例えば、娘が18歳のとき、眠りたがらず、一晩中電気をつけていたいと言い張りました。怒りをあらわにして「わたしの洋服だんすに宣教師が隠れているから、眠りたくない」と言うのです。明らかに妄想だと分かりました。

わたしは怒らず、理解しようと努めました。なぜそんなにおびえているのだろうと思い巡らしたところ、娘の友達の多くが結婚していることを思い出しました。娘は何度も結婚パーティーに出席し、友人たちが洋服だんすに入れるであろう美しい贈り物を受け取る様子を見ました。友人たちは結婚し、娘から離れていき、もう今までのようにはつきあえなくなりました。娘もまた、同じような経験をしたいと望んでいて、よく「わたしは結婚できるのかしら」「わたしを愛してくれる人はいるのかしら」「だれかわたしのために結婚パーティーを開いてくれたり、美しい贈り物をしてくれたりするかしら」という心配を口にしていました。娘の友人たちは帰還宣教師と結婚しており、娘にも帰還宣教師は素晴らしい夫になるということが分かったのでしょう。こういったすべてのことが何らかの形で作用し合ったのだと思います。また娘自身、結婚生活を営むに足る技術や能力が自分には備わっていないことが痛いほど分かっていました。そういった葛藤<sup>かつどう</sup>を言葉で表

現すること、あるいは自分の複雑な気持ちを完全に理解することができなかつたため、わたしたちには、たんに宣教師が隠れているという妄想でしか伝わらなかつたのです。娘の心の動きを理解し始めてからは、じっくり話せるようになりました。二人で話し合つて、娘の葛藤を言葉で表現できるように助け、結婚できないつらさをともに悲しみました。すると問題行動はやみ、娘は安心して眠ることができました。

### 問題行動

時折、両親にとって障害を持つ子供の問題行動が何に起因しているのかを見極めるのは難しいことがあります。障害によって困難な事柄の種類も異なりますし、子供の生来の気質や強さ、また弱さも様々です。問題行動を取り巻く環境も、各家庭によって違います。こういったあらゆる要素が関係するため難しいことではありますが、問題行動の意味を見極めることができれば、何を解決すればよいか分かりやすくなります。子供に対して怒ったり、いらいらしたりするのは逆効果です。なぜなら、そういった反応をすることで、問題行動の真の原因を突き止めるのが妨げられてしまうからです。

問題行動の原因として最もよくあるのは、親の注意を引きたいという願望です。子供が親の注意を引こうとするのは、空腹や疲れ、恐れ、過度の刺激を感じているからかもしれません。また、退屈さや欲求不満、病気、食べ物・環境へのアレルギー反応などがあるからかもしれません。それを言葉で表現できない場合、子供は行動で表現するのです。これは特に、脳機能障害がある子供たちに言えることです。その中には、注意欠陥障害、知能障害、躁うつ症、統合失調症などが含まれます。このような障害を持つ子供は苦悩に圧倒されてしまい、心配事を言葉で表現できないことがあります。両親は、子供の生活で起きている事柄に敏感になり、親の注意を引こうとする原因はないか注意して見守る必要があります。

以下の方法は、問題行動を抑えるうえで効果的ではありません。(1)しつけのためのルールを作るだけで、守らせようとしない。(2)どなる——子供はどなられないかぎり言うことを聞かなくなります。(3)侮辱したり、非難したりする。これは子供を辱めるだけです。(4)問題行動とは無関係な事柄を禁じる。(5)肉体的に、また言葉によって子供を虐待す

る。通常これらの方法は、子供が困難な状況を乗り越え、感情をコントロールできるようになるのを助けるどころか、問題行動をさらに助長するだけです。

### 祝福

障害を持つ子供を育てることで、多くの祝福があります。わたしは、自分自身が霊的に成長するうえで、ニッキーが非常に重要な役割を果たしてくれたことに気づきました。この経験のおかげで、ひざまずいて祈る機会がたくさんありました。賢明な天の御父から、さらに多くの教えを頂く必要があったからです。それによって、もっと理解したいと望んでいた真理に対して心を開くことができました。「なぜわたしに」「なぜ彼女に」という疑問への答えをすべて得たわけではありませんが、多くの原則についてさらによく理解できるようになりました。それは、わたしにとってかけがえのないものです。

わたしが気づいた最も素晴らしいことの一つは、娘の霊には障害がないということです。わたしは娘が霊的に充実した生活を送っていることに気づくようになりました。多くの場合、神聖な機会にだれよりも早く聖霊の存在を感じるのはニッキーです。また、彼女の限られた知力では得られなかったであろう、霊的な思いを伝えてくれることがよくあります。

ニッキーが祝福師の祝福を受けたとき、彼女の霊が偉大であるので、現世でこのような特別な経験を与えられたことを告げられました。彼女のおかげで、周りの人は思いやりや理解することを学びます。彼女が家族だけでなく、多くの人にしてくれたたくさんのすばらしいことに感謝しています。ニッキーはわたしたちに、愛や親切、慈愛が健常者のためだけでなく、問題を抱えている人のためにもあることを教えてくれます。わたしは、ニッキーと永遠のきずなを築きたいという固い望みを抱いています。やがて彼女の障害が癒されるとき、その偉大な魂からもっとたくさんのかことを学べると確信しています。■

マーリーン・S・ウィリアムズは、ユタ州オレム・ヒルクレストステーク、ヒルクレスト第8ワードの会員です。



**彼女のおかげで、  
周りの人は  
思いやりや  
理解することを  
学びます。  
彼女が家族だけ  
でなく、多くの人  
にしてくれたたくさん  
のすばらしいことに  
感謝しています。**

# ガーナに 集う

マイケル・カークパトリック, マージド・カークパトリック



**ハ**ルマッタンと呼ばれる、この地域特有の砂を含んだ熱風が、観客席を吹き抜ける中、ここガーナのアクラでは、期待に胸を膨らませた何千人もの末日聖徒が静かに座って待っています。彼らはこの日のために努力して、入念に計画し、すべての準備を整えました。そしてついに、待ちに待った預言者が入場して来たのです。

ガーナの青少年たちは、数か月前にヒンクレー大管長からある依頼を受け、そのときか

ら、ずっと活気に満ちていました。西アフリカで最初の神殿となるガーナ・アクラ神殿の奉獻式に、青少年と子供たちに参加してもらいたいというのです。

ガーナ地域の青少年は奉獻式に参加するために、何時間もかけて民族舞踊と歌を繰り返し練習し、それらを組み合わせると一つの作品に仕上げました。それは青少年の活動としてはアフリカでかつて類を見ない最大規模のものとなり、さらに預言者とガーナの人々のため

**神殿の完成と  
ゴードン・B・ヒンクレー  
大管長の訪問を祝って、  
民族衣装に身を包み、  
歌と踊りを披露した  
ガーナの青少年(左上)。  
式典の中で  
「神の子です」を歌う  
白い衣装の  
初等協会の子供たち  
(左下)。**







の壮大な文化の祭典となりました。

ほぼ1,000人の青少年と700人の初等協会の子供たち、それにガーナ地域のすべての専任宣教師がアクラ・スポーツスタジアムで歌や踊りを披露しました。観客席では、ヒンクレー大管長とマージョリー夫人をはじめとして、十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老、アフリカ西地域会長会会員とその夫人たち、ガ一部族評議会、教会員その他の観衆が見守りました。ヒンクレー大管長は、英語、フランス語、トウィ語、そしてトーキングドラム〔訳注——西アフリカ一帯で、近距離の通信に使用される民族楽器。人の話し声のような音色を持つ〕による歓迎を受けました。

式典は宣教師の歌う「われらは天の王に」(『賛美歌』157番)で始まり、その後に青少年の歌と踊りが続きました。伝統的な衣装に身を包んだ青少年たちは、ステーキや地方部ごとに舞台に立ち、それぞれの地域や村を代表しました。

デズモンド・アーウィレングという少年が、アフリカ民話に出てくる伝説のクモ、アナンシを演じました。舞台上でアナンシは世界中のすべての良いものを手に入れるために村から村へと渡り歩き、頭上に載せたひょうたんの中に

集めました。アナンシがそれぞれの村に近づく度に、村の若者たちは歌や踊りで彼を迎え、勇気、奉仕、愛、音楽、家族といった良いものを差し出します。

アナンシは、旅の終わりにガーナ・アクラ神殿を目にします。この利己的なクモは神殿の美しさによって目覚め、これまでに集めた良いものを独占すべきではないと気づきます。アナンシはひょうたんの中に集めたものをすべて、みんなと分かち合うことにしました。白い衣装を身にまとった700人の初等協会の子供たちが「神の子です」(『賛美歌』189番)を歌って、アナンシの善い行いを喜びました。

アクラ神殿の奉献式はガーナの青少年の記憶に永くとどまるでしょう。アナンシと同じように、彼らも美しい神殿が大好きです。また神殿を見る度に、預言者の勧告に常に従い、自分の徳を分かち合う気持ちを強められるようにと願っています。■

マイケル・カークパトリックとマージド・カークパトリックは、アフリカ西地域広報ディレクターの召しを最近終えたばかりです。二人はソルトレーク・ホラデステーキ、ホラデー第26ワードの会員です。



**神殿の隅石の  
前に立つヒンクレー  
大管長(最上)。  
アフリカ民話に  
登場するクモ、  
アナンシ(上)が  
村々を巡り歩くという  
設定で、それぞれの  
グループが伝統的な  
歌や踊りを披露した  
(左と左上)。**

# ただ一人の 生存者

救出されて<sup>できし</sup>溺死を免れた後もなお、救いが必要でした。

ジョエリ・カロウガタ

19 73年12月の雲に覆われたその日の朝、わたしの気分は天気とは正反対でした。船が南太平洋にある故郷の小島を離れ始めたとき、両親、そして二人の弟妹と並んで船の甲板に立っていたわたしの心は高鳴っていました。船の名は「ウルイラケバ号」で、フィジー諸島の首都スバに向かおうとしていました。

辺境の島オノイラウ島に住む12歳の少年にとって、都会への旅はめったにない経験でした。この日が来るのを待ち焦がれていたわたしでしたが、それは両親と弟、妹も同じでした。わたしたち5人はスバまで行って、バプテスマを受けて、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員になるのです。

## 真理を求めて

回復された福音の最初の光は、驚くべき方法で我が家に降り注ぎました。父のモーゼスはメソジストの教えを受けて育ちました。しかし、何年もの間独学で聖書を研究して父が到達した結論は、聖文に説かれているとおりのイエス・キリストの真の教会は、わたしたちが育ったこの小さな島にはないということでした。父は、わたしたち家族がどこの教会に行くことも許しませんでしたが、毎日家族を集め、聖書について教えてくれました。それから後の年月も父は聖文を探求し続け、イエス・キリストの真の教会は存在しないという確

信を強めていきました。

このようなわけで、わたしたちは闇の中にいましたが、それもついに1971年、いとこのシガが短い休暇を取って島に帰って来たときに終わりました。シガはハワイに住んでいました。思いがけない再会に、わたしたちは大喜びでした。母はすぐに紅茶を用意しましたが、驚いたことに、シガは飲もうとしません。ハワイでモルモン教会のバプテスマを受けたので、紅茶は飲んでいないということでした。そのような宗教など一度も聞いたことがなかった父は「それはどんな教会なんだい」と尋ねました。シガは辞典を引いてみるように言いました。父は早速「モルモン」の項を開くと読みました。「末日聖徒イエス・キリスト教会」。

その途端、父は思わず立ち上がり、こぶしでテーブルをたたきました。これこそ父が生涯をかけて探し求めていたものであるとの確認を、聖霊が父の心にお与えになったのです。その教会について教えてほしいとシガに頼む父の表情は一変していました。二人はエペソ人への手紙第4章を読み始め、それから長時間にわたって話をしました。その章には「信仰は一つ、バプテスマは一つ」と書いてあり(5節)、また、使徒と預言者が必要であることが述べられていました。そして、長い間話し合いが続きました。シガは、宣教師に連絡してさらに詳しいことを聞いてみたらどうか、と父に提案しました。

こうして、わたしたちは末日聖徒イエス・キリスト教会について知るようになりました。父はフィジー・スバ伝道部のエ

ビー・L・デイビス部長と手紙のやり取りを始め、伝道部長はモルモン書を送ってくれました。間もなく、教会の教義に関するほかの本やパンフレットも送られてきました。父はこれらすべてをむさぼるように読み、これまでの数々の疑問への答えを見いだしていきました。すぐに父は、家族でバプテスマを受けることを心から望むようになりました。しかし、教会はわたしたちが住む島にはありませんでした。そして、バプテスマを受けるには、教会がある所まで行かなければならないことが分かりました。それはわたしたちにとって、スバに行くことを意味していました。

### 荒海にもまれて

計画と準備に2年近い時間をかけ、とうとうその日が来ました。わたしたちはほかの乗客とともに「ウルイラケバ号」に乗り込みました。満員の船内は活気に満ちており、わたしたちは希望と興奮で心を躍らせながら出港を待ちました。

1973年12月10日月曜日の午前8時ごろ、船は埠頭を

離れました。その日、様々な感慨で胸がいっぱいだったわたしは、前途に迫る強風と不気味な雲に気づきませんでした。しかし、船が外洋にゆっくり出て行くころ、天候は悪化してきました。すぐに、熱帯性の嵐が近づきつつあるという予報が入ってきました。しかし、こうした警告にもかかわらず、船長は安全な航海ができると確信していたのです。船は航行を続けましたが、その間にも海上の様子は厳しさを増し、雨も強くなっていきます。程なく「乗客は全員、船内に避難するように」という指示が出て、船員は荒れる海での航行に取り組みました。

父方の親戚だった船長は、嵐をやり過ごす間、わたしたちが休めるように自分の船室を使わせてくれました。

わたしたち家族は互いに抱き合い、待ちました。そのころになると船の揺れは相当激しくなりましたが、数分もしないうちに、弟も妹もわたしも眠ってしまいました。





**永** 遠とも  
思える時間  
が過ぎて、  
ようやく太陽が  
再び昇りました。  
それから、  
もう一昼夜を  
乗り越え、水曜日の  
午後5時ごろ、  
ついに救助船が  
わたしたちを  
発見しました。

眠りに落ちた次の瞬間(としかわたしには思えなかったのですが), わたしたちは母の悲鳴で目を覚ましました。海水が小さい船窓から流れ込んでいました。体を起こすと、父がいないことに気づきました。きっと甲板に上がって行ったのでしょう。わたしも母と弟たちのそばを離れました。甲板に上がって行くこととはとても困難でした。すっかり気が動転して、なぜ自分は甲板に行こうとしているのかさえ分かっていませんでした。船は大量の海水が入り込んで沈みかけていました。やっと甲板にたどり着いた途端、「ウルイラケバ号」は傾き始め、わたしは荒れた海に投げ出されてしまいました。

ただ生き延びることだけに本能は働きました。力のかぎり必死で泳いで、巨大な波の上に顔を出してられるように努めました。数分後、浮いている2枚のココナツ袋にしがみついている年配の男性が見えました。何とかその人のところまで泳ぎ着き、袋を一つ下さいと頼むと、ありがたいことにその人は一つ分けてくれました。その袋をつかむと、生存をかけてし

がみつきました。

何分かたって、突然母の姿を見つけました。母も無事にいるわたしを見つけ、泳いで来ました。わたしたちは抱き合いました。「どんなことがあっても絶対に袋を放すんじゃないよ、それできっと助かるからね」と言った母の言葉をわたしは決して忘れないでしょう。母はわたしの頬ほおにキスをし、弟と妹を探すためにわたしのものを離れて行きました。それが母を見た最後となりました。

それから嵐が静まることはなく、一体何が起こったのかを考える余裕もないまま、とにかく水面に浮いているために波と格闘しました。波間に漂いながら、多くの人が見えましたが、家族を見つけることはできませんでした。

悪夢のような時間が過ぎていきました。やがて夜になり、わたしたちは暗闇の中を泳ぎ続けました。永遠とも思える時間が過ぎて、ようやく太陽が再び昇りました。それから、もう一昼夜を乗り越え、水曜日の午後5時ごろ、ついに救助船がわたしたちを発見しました。

丸2日以上がたっていました。難破した船に乗っていた約120人の乗客のうち、35人の生存者が海上で発見されました。わたしたちはスバに運ばれ、病院に収容されました。そこで事故の詳細を知りました。港を出て4時間足らずのうちに船は太平洋性の短命の嵐、サイクロン・ロッチェに遭遇したのです。「ウルイラケバ号」はついに見つかりませんでした。一緒に船に乗っていたわたしの家族5人のうち、生き残ったのはわたし一人だったことも知りました。こうして、教会のバプテスマを受けるというわたしたち家族の計画は、海の深みに沈んでしまったのです。

### 失い、そして見いだす

それから月日がたち、わたしはフィジー諸島

最大の島であるビティレブ島にとどまっています。何年も前に故郷を出ていた姉のもとに身を寄せていたのです。悲劇的な事故の混乱で、デイビス伝道部長はわたしの消息が分からなくなり、わたしも教会の連絡先をなくしてしまいました。しかし、わたしが生き残ったことを知った伝道部長は、宣教師たちにわたしを探すように指示しました。彼らは何か月も探してくれましたが、何の手がかりも得られませんでした。やがて、デイビス伝道部長の任期が終了し、わたしの捜索は後任者に託されました。

何年も経過しましたが、伝達手段が不十分だったために、宣教師たちはわたしの居場所を突き止められませんでした。わたしが世話になっていた家族は福音には興味がなく、わたしが10代の間に教会を探し出せる望みはほとんどありませんでした。家族を失い、つらい思いをしていたわたしは、どうして自分一人だけに取り残されたのだらうと思っていました。しかし、心には両親が教えてくれた真理がいつもありました。弱点や誘惑に負けてしまうことは時折ありましたが、イエス・キリストとキリストの真の教会に対する父の証<sup>あかし</sup>を忘れることはありませんでした。その後わたしは結婚し、フィジーの北の島、バヌアレブ島に落ち着きました。

1985年3月のことでした。幹線道路からそう遠くない場所で、ココナツのコブラ〔訳注——ココヤシの核、食用の部分〕割りの仕事をしていました。小型車に乗った年配の夫婦が車を止めるとわたしに声をかけ、ジョエリ・カロウガタという男性を知らないかと聞いてきました。しかし、二人はわたしに尋ねる前に、もうすでにわたしを探し当てていたのです。「どんな御用ですか」とわたしは聞きました。二人は自分たちが末日聖徒イエス・キリスト教会から派遣された宣教師で、キンバー長老とキンバー姉妹であると自己紹介しました。とうとう教会はわたしを見つけてくれたのです。すばらしい瞬間でした。6回分の宣教師のレッスンを2日で終えたわたしは、妻のエレノアとともに、1985年3月18日にバプテスマを受けました。

その日以来、わたしたちの生活は一変しました。

わたしは今、人生に天の御父が注いでくださったすばらしい祝福に思いをはせています。そしてこれからも、どんなときにも、愛に満ちた両親と、両親から学んだ原則と真理に感謝することでしょう。両親の模範があったからこそ、妻と子供たちとともに、こうして、イエス・キリストの真の教会の会員であることができるのです。

1998年、エレノアとわたしはトンガに飛行機で行き、トンガ・スクアロファ神殿において神聖な永遠の聖約を結び、両親と弟、妹のために神殿の儀式を行いました。その数年後、新しく建設されたフィジー・スバ神殿で、子供たちと結び固められました。今、わたしの家族、わたしの永遠の家族について考える度に、わたしを覚え、人生に福音を返してくださった主への感謝に包まれます。■

ジョエリ・カロウガタは、フィジー・ラバサ地方部ナブア支部の会員です。



**キ**ンバー長老と  
キンバー姉妹  
は、自分たちが  
末日聖徒  
イエス・キリスト教会  
から派遣された  
宣教師であると  
説明しました。  
とうとう教会は  
わたしを見つけて  
くれたのです。  
すばらしい  
瞬間でした。

# 永遠の規範を 確立する



七十人会長会  
アール・C・ティンギー

**ヤングアダルトである  
皆さんには、  
主の方法を知り、  
理解し、それに従う  
というチャレンジが  
課せられています。**

**わ** たしたちがする決断の中には、一度だけでよいものがあります。一度決心することで、将来同じような状況になっても、どのように行動したらよいか迷う必要がないのです。決断は習慣または規範を生み出します。この**規範**という言葉は、わたしが今日教会のヤングアダルトへ勧告したいと思っている事柄をよく表しています。人生のこの時期に、どのようにして永遠の幸福へ導く規範を確立すればよいかを知るのは大切なことです。

皆さんの多くは、恐らく新しい服や模型飛行機を作ったときに、規範すなわち型を使ったのではないのでしょうか。規範という意味の英語“pattern”は、動詞として使われると「定められた方式や形式に合わせる、まねる、従う」という意味になります。

主は1831年に預言者ジョセフ・スミスに与えた啓示の中で、**規範**という言葉を使っておられます。「さらにまた、あなたがたが欺かれないうために、わたしはすべてのことに関して規範を与えよう。サタンは地の方々におり、出て行ってもろもろの国民を惑わすからである。」(教義と聖約52:14)

この啓示が与えられたとき、教会はまだ設立されてから1年しかたっていませんでした。そ

して人々を欺く偽りの霊が現れていました。そこで主はこの章の中で、すべての手続き、儀式、活動には、従うべき、定められた規範があると明確に指示されました。規範は、聖徒たちが物事を主の方法で行ううえで役立ちます。

わたしたちに課せられているチャレンジは、主の方法を知り、理解し、それに従うことです。主が確立された確かな規範に従うなら、わたしたちはこの世で幸福を見だし、永遠の命にあずかる資格を得られるのです。預言者ジョセフ・スミスはこう語りました。「神は永遠の御方であり、わたしたちが見るように物事を見てはおられません。」<sup>1</sup>もし天の御父のように物事を見ることができればなら——それは、聖文を研究し、預言者に従い、個人的な啓示を受けることによって可能となります——わたしたちは主の規範に従い、人生に訪れる不幸の幾つかを避けることができるでしょう。

主がわたしたちに従うよう望んでおられる6つの神聖な規範について考えてみましょう。

## 道徳的な清さ

清くあってください。10年以上もの間、大管長会は教会の青少年に『若人の強さのために』というすばらしい小冊子の教えに従うように奨励してきました。この小冊子は皆さんの心と身体を世の罪から遠ざけ清く保つための標準を説明しています。

この小冊子は青少年向けですが、ヤングアダルトの皆さんにとっても、その勧告に従い続けることはためになります。この小冊子に関して得た個人的な経験を述べたいと思います。

妻とわたしは、以前アフリカに住んでいました。わたしはアフリカ中東部の小国ブルンジへ行くように言われました。そこでは忠実な数家族が家で教会の集会を開いており、宣教師を送ってほしいと願っていました。

わたしはその国の政府を代表する立派な紳士に会い、わたしたちが何者で、何を教え、この国にわたしたちの教会を建てるのが人々の生活をいかに祝福するかを説明しました。話し終わると、彼はこう言いました。「今のお話から、この国にすでにあるほかの宗教との違いが見えてきません。宣教師をわたしたちの国に呼び寄せたいという要望を承認する理由がありません。」

わたしはがっかりしました。会合は終わりに近づき、間もなく出て行くよう促されることでしょう。わたしは何を言えばよいか分かるように心の中で祈りました。するとすぐに一つの考えが心に浮かびました。財布を取り出して、中から常に携帯していた小型版の『若人の強さのために』を取り出

したのです。残りの時間、わたしは教会の青少年は皆この小冊子を持っていることを手短かに説明しました。そしてその中の項目を読み、これらの規範を若人に教えていることを説明しました。

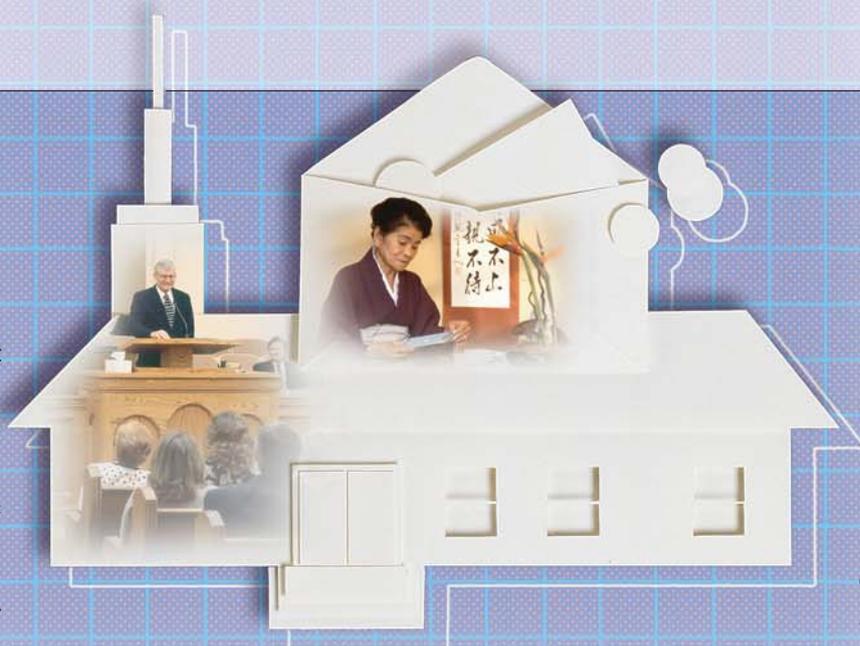
「あなたの教会の青少年に、この標準を守るように期待しておられるのですか。」この紳士はそう尋ねました。

「はい、わたしたちの教会の青少年はこの標準に従っています。」そう答えました。

「それは驚くべきことです。その小冊子を何冊か送っていただけませんか。うちの教

**政府の代表は  
こう言いました。  
「宣教師をわたしたちの  
国に呼び寄せたい  
という要望を承認する  
理由がありません。」  
わたしは  
何を言えばよいか  
分かるように祈りました。  
するとすぐに  
一つの考えが  
心に浮かびました。  
財布を取り出して、中から  
常に携帯していた  
小型版の  
『若人の強さのために』を  
取り出したのです。**





会の青少年にも配りたいので。」

わたしはヨハネスバーグへ戻ると、フランス語と英語の小冊子を500冊ほど送りました。約1か月後に、わたしたちはブルンジ政府から、国内に教会を建てることを承認する正式な認可を受けました。

その出来事にわたしがどれほど貢献できたかは分かりませんが、『若人の強さのために』の小冊子が、大きな価値のあるものだとこの善良な人にすぐさま認められ、教会が正式な認可を得るために大いに役立ったということは確かです。

わたしは皆さんがめいめいこの小冊子入手するように、そして、その中に記された教えと標準を守り、大管長会が約束した次の祝福にあずかるようお勧めします。

「皆さんにお約束します。これらの標準に従い聖文にある真理を守って生活するなら、人生の務めに知恵をもって巧みに対処することができ、また、これまで以上の勇気を得て試練に耐える力が与えられるでしょう。聖霊の助けが得られるでしょう。自分自身に対して良い思いを抱き、人々の生活にも良い影響を与えるようになるでしょう。神殿に参入して聖なる儀式を受けるふさわしさも身に付くでしょう。そのほかにも数々の祝福が与えられるでしょう。」<sup>2</sup>

## 安息日

安息日を聖く保ってください。今こそ、生涯にわたる行動規範となる習慣をつくる時です。安息日の規範は、十戒に明確に定められました(出エジプト20:8-11参照)。

主はこの勧告を、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた現代の啓示の中でも繰り返しておられます。

「また、あなたは、世の汚れに染まらずに自らをさらに十分に清く保つために、わたしの聖日に祈りの家に行って、聖式をささげなければならない。

まことに、この日は、あなたがたの労苦を解かれて休み、いと高き方に礼拝をささげるように定められた日だからであ

る。」(教義と聖約59:9-10)

商業主義に重点が置かれた今日の世界では、日曜日を週日と区別するのが難しいことが時折あります。注意しないと、いつの間にか神聖な安息日を破るようになり、主のものではない自分自身の規範を

作り上げるようになります。そして時がたつにつれ、その習慣を改めることは困難になるのです。

学生の皆さんは、安息日に学校の勉強をすることについてのどのような標準を掲げるべきか考えることでしょう。3つの大学に通った経験から話したいと思います。その中の一つは法学大学院で、会社法の上級修士号を取得しようとしていました。在学中のある時期、わたしは監督を務め、ニューヨーク市で弁護士として働きました。安息日に勉強する誘惑と機会はたくさんありました。しかし、わたしは日曜日の勉強を避けることを信仰と原則という単純な問題としてとらえました。主はその決意に対して祝福を下さったと思います。わたしは自分が目指した教育課程をすべて修了し、優秀な成績を収める必要があるときにはそうすることができました。

安息日は善を行うすばらしい日とすることができます。集会に出席し、聖餐にあずかり、断食し、福音を学び、困っている人を訪ね、宣教師に手紙を書き、良い本を読み、自分がどのような方向に進んでいるのか、あるいはどのような人物になろうとしているのか、深く考える時間を取ることができます。

十二使徒定員会のマーク・E・ピーターセン長老(1900-1984年)はこう教えています。「安息日を守るか、守らないかは、主御自身に対する、そしてゲツセマネでの主の苦難と十字架での死、墓からの復活に対する、わたしたちの感じ方を間違いなく表しています。安息日の過ごし方は、真の意味でのクリスチャンと、主の贖いの犠牲を記念する日に対してほとんど意味を感じていない表面的な改宗者を見分けるしるしです。」<sup>3</sup>

## じゅうぶん 什分の一と献金

什分の一と献金を納めてください。皆さん一人一人が収入の10分の1を取り、什分の一として監督に納めるという習慣を身に付けることは大切です。また、献金の明確な記録が公式な教会の記録として残るように、什分の一の面接に出席する必要があります。

皆さんの多くは、学生時代にはほとんど収入がありませんが、中には多くの収入を得始めている人もいますでしょう。どちらの場合にも、什分の一を納めるには大いなる信仰が必要です。今この規範を身に付けていれば、生涯祝福されると心から証<sup>あかし</sup>します。その結果として永遠にわたって与えられる祝福については、とうてい想像することもできないでしょう。

皆さんの多くは、断食献金を納める規範を確立していません。青少年のうちは両親に断食献金を納めてもらったことでしょう。しかし、皆さんが家族や家庭を持つようになると、監督または支部長が教会の貧しい人や困っている人に適切に対処できるように、正直に断食献金を納める規範を確立しなくてはなりません。

## 教会での奉仕

召されたときはいつでも教会で奉仕してください。この教会には一般の会員が指導者となる規範があります。すべての人に王国における召しと与えられるのです。ヒンクレイ大管長は、責任を与えることが新会員を定着させるための不可欠な要因であると言いました。

どのような召しであっても、それを受け、よく奉仕するように勧めます。教会で奉仕する人々がどのような祝福を受けるか、個人的な経験を紹介しましょう。

法学大学院を卒業した後、3年間軍隊に入りました。妻とわたしはユタ州を離れ、最終的にはニューヨーク州の軍事施設へ行きました。3年間の軍務が終わりに近づき、ユタ州へ戻ろうとしていたとき、わたしはニューヨーク市マンハッタンワードの監督に召されました。

当時、わたしたちの4人の子供のうち3人が誕生していました。それはまったく予期していなかった、信仰を試される召しでした。ニューヨーク州で弁護士として開業するには、ニューヨークの試験を受ける必要がありました。子供たちを人口密度の高いニューヨーク市に住ませなければなりません。そのような生活は、まったくなじみのないものでした。

それでも、それまでずっと教会の召しを受け入れるように勧告されてきたわたしは、この召しを受けるべきだと感じ、約1,000人の会員がいる大きなワードの監督になりました。

7年近く監督を務めたとき、非常に気にかかることがありました。結婚して10年がたち、4人の子供がいましたが、いまだに賃貸アパートに暮らしていたのです。そろそろ持ち家という形で資産を保有し始めた方がよいのではないかと考え、都心から郊外へ移ることを検討するようになったのです。

当時住んでいた二つの寝室のある小さなアパートは、ニューヨーク中心街の高層ビルの中にあり、ちょうどそのころアパートから共同住宅へ改築されたばかりでした。いわゆる分譲マンションに相当するものとなったのです。法律により、アパートの住居者は相場より安い値段で共同住宅を買い取り、その後、市場価格で売却することができました。

わたしたちは数年間ためてきた貯金で共同住宅を買い取り、売却しました。売却による利益は、そこに住んでいた7年間に支払った家賃とほぼ同額になりました。その事実を発見したわたしは、長い間、持ち家という資産を保有していないことを心配していたのを思い出しました。そして、主がそれまでしてくださっていた以上に、わたしのお金を上手に管理する方法はなかったと悟りました。その7年間の忠実な奉仕は、予想もしていなかった方法で報われたのです。

この証を皆さんに伝えたのは、わたしたち家族の経済的な状況に注目してもらうためではなく、主が皆さんとその忠実な奉仕を御存じだということに気づいてもらうためです。熱心に奉仕してください。そうすれば、主は皆さんの努力を祝福してください。

**召されたときはいつでも教会で奉仕してください。  
この教会には一般の会員が指導者となる規範があります。  
すべての人に王国における召しと与えられるのです。**



## 教育と将来への備え

学業において良い成績を取ってください。卒業して職業に就くとき、皆さんの成功は、その大部分が皆さんの成績や仕事の能力に左右されるでしょう。

時折、大学生活の忙しさに流されて、学校にいるのは高い教育を受けるためであるという事実を見失うことがあります。大学の社交的な面も大切ですが、高度な教育を受けるという、大学にいる最も重要な目的を忘れないように注意しなくてはなりません。まじめに取り組んでください。一生懸命勉強し、学ぶ事柄を身に付けてください。

## 日の栄えの結婚

日の栄えの結婚という祝福と責任を受け入れられるような規範を身に付けてください。皆さんの年代に生活で確立すべき最も重要な規範は、日の栄えの結婚へと導く規範です。

教会の教義は非常に明白です。わたしたちは皆、神殿で結婚するふさわしさを身に付け、聖文と「家族——世界への宣言」<sup>4</sup>に従って義になかった家族を一生懸命に養わなければなりません。

日の栄えの結婚の教義はこうです。

「日の栄えの栄光には、3つの天、すなわち3つの階級がある。その最高の階級を得るためには、人はこの神権の位(すなわち、結婚の新しくかつ永遠の聖約)に入らなければならない。そうしなければ、その人はそれを得ることができない。

その人は他の階級に入ることはできるが、それは彼の王国の終わりであって、その人は増し加えることができないのである。」(教義と聖約131:1-4)

人が結婚する義務について、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長(1876-1972年)はこう教えています。「結婚するようにとの重要な戒めを大して考えることもせずはないがしるにし、結婚生活に伴う数々の責任を回避したいという利己的な考えから結婚しない若い男性は、神の目に喜ばれる道を歩んでいない。」<sup>5</sup>

若い兄弟姉妹の皆さん、皆さんが心を開き、夫婦というす



**まじめに取り組み、一生懸命勉強することで  
良い成績を取ってください。  
日の栄えの結婚に備えるうえで役に立つ  
規範を築いてください。**

ばらしい結びつきを求め、永遠の関係へ結び固められるような規範を身に付けることは大切です。

## 規範を確立する

生活の中に永遠の規範を確立するなら、永遠の幸福へと導かれるでしょう。その規範はこうです。(1) 清くある。『若人の強さのために』の教えに従う。(2) 安息日を聖く守る。(3) 什分の一と献金を納めることから得られる祝福に感謝する。(4) 教会で忠実に奉仕する。(5) 学

業において良い成績を取め、将来に備える。(6) 日の栄えの結婚の祝福と責任を受け入れる。

皆さんの世代には、教会の将来に対する偉大な約束が与えられています。わたしたちは皆さんを信じています。困難なことはたくさんありますが、皆さんは困難を乗り越えることができます。ふさわしい生活をして、個人的な啓示を受けられるように、よく耳を傾けてください。主の永遠の目的が世界中で達成されるように、信仰をもって、喜んで前進してください。皆さんにはそれができると、わたしたちは知っています。

2002年5月5日、アリゾナ州メサで開かれた教会教育システムファイヤサイドにおける説教から。

## 注

1. *Teachings of the Prophet Joseph Smith*, ジョセフ・フィールディング・スミス選(1976年), 356
2. 『若人の強さのために』<sup>2</sup>
3. "The Sabbath Day" *Ensign*, 1975年5月号, 49
4. 本号の裏表紙の内側参照
5. 『救いの教義』ブルース・R・マッコンキー編, 全3巻, 第2巻, 67参照

## 謙遜になることを通して 主の愛を感じる

以下のメッセージから訪問先の姉妹たちの必要に合った聖句や教えを祈りの気持ちで選び、読んでください。自分の経験や証を伝え、あなたが教える人々も同様に分かち合うよう勧めてください。

### 七十人 マーリン・K・ジェンセン

「謙遜さを養ううえで、救い主はわたしたちに模範を示してくださいました。弟子たちがイエスのもとに来て言いました。『いったい、天国ではだれがいちばん偉いのですか。』すると、イエスは幼子をおさなごと呼び寄せ、彼らの真ん中に立たせて答えられました。……子供のようにになるとは、聖霊の助けを受け、キリストの贖罪に頼ることによりもたらされる、霊的成長の段階的な過程で……す。この過程を通して、わたしたちはやがて、子供のような特質である、柔和、謙遜、忍耐、愛、そして霊的な従順さといった特質を身に付けていくのです。真の謙遜があれば必ず、神に『御心が行われますように』と言うようになるでしょう。また、自らの行いは、自分が何者であるかによって影響されるため、わたしたちが身に付けた従順さは、敬虔さや感謝の思い、そして召しや勧告、改善の提案を快く受け入れる態度に表れるでしょう。』（「へりくだってあなたの神と共に歩む」『リアホナ』2001年7月号、10参照）

**教義と聖約112:10**——「あなたは謙遜でありなさい。そうすれば、主

なるあなたの神は手を引いてあなたを導[かれる]であろう。」

### 第二副管長 ジェームズ・E・ファウスト

「謙遜さにはバランスを保つことが求められます。例えば、だれかから褒められたら、感謝して受け止めてください。しかし、それによって高慢になってはなりません。……謙遜な人は素直に教えを聞きます。主はこのように約束しておられます。『わたしの御霊は、へりくだって悔いる者を照らすために、……世に送られている。』（教義と聖約136:33）」（「義になつた神の娘の持つ徳」『リアホナ』2003年5月号、109参照）

### 中央扶助協会会長 ボニー・D・パーキン

「弱さは人の心を天の御父とその御心へ向けさせることができます。弱さを認めることは容易ではありません。それはつらく、恐ろしいことです。それでも、弱さは人を謙遜にさせてくれます。そして弱さを克服するには主に頼らなければならないことを認められるほど謙遜になったとき、主は永遠の愛で心を満たし、弱さを強さに変えてくださいます。主の御心を知るためにさらなる指示を求めるには謙遜さが必要です。主の御心をさらに深く知る非常に効果的な方法は、祝福師の祝福です。祝福師の祝福によって、主の愛をさらに深く理解でき、自分の賜物を知り、一人一人に向けられた主



の勧告や約束を知ることができます。」

### ヤコブの手紙4:10

「主のみまえにへりくだれ。そうすれば、主は、あなたがたを高くして下さるであろう。」

### 管理監督会第一副監督 リチャード・C・エッジリー

「謙遜に自分の意志を御父に従わせることによって、神の力、すなわち謙遜の力を受けます。それは人生の逆境を乗り越える力、平安の力、希望の力、救い主イエス・キリストに対する愛と証で高鳴る心の力、そして贖罪の力です。そして何より、救い主は謙遜と従順の力に関する究極の模範です。結局のところ、主が御自分の意志を御父に従わせられたことによって、歴史上最も偉大で最も大きな影響力のある出来事が成し遂げられたのです。恐らく、あらゆる聖文の中で最も神聖な言葉の一つがこれです。『わたしの思いではなく、みこころが成るようにしてください。』（ルカ22:42）」（「謙遜の力を受ける」『リアホナ』2003年11月号、99）

● 主の愛を感じるうえで、どのような謙遜の模範が助けになりましたか。

● 日々の生活の中で謙遜になることは、さらに主に近づくうえでどのような助けになりますか。■

## わたしは無神論者でした

ニコル・ジャーム

夫のイーブがバプテスマを受けて、末日聖徒イエス・キリスト教会に加入したのは、1989年のことでした。わたしは無神論者でしたし、福音もまるで理解していませんでした。ですから、夫と一緒に宣教師からすべての福音のレッスンを聞き終えたときでさえも、わたしは宣教師の教えに心を動かされることはまったくありませんでした。

夫が福音について真剣に考え始めたことはすぐ

に分かりました。夫はすでにたばこもアルコールもやめていました。わたしは、それがどれくらい長続きするものか見守っていました。夫には、数年前に、たばこをやめようと努力し始めたものの、3か月もしないうちにまた吸い出したという経験があったからです。

イーブがバプテスマを受けた後は、宣教師たちは毎週我が家へやって来て、わたしに福音を教え、一緒にモルモン書を読もうとしました。しかし、彼らの

**わたしはモルモン書を読んでいました。同時に、たばこも吸っていましたが、集中することができなかったので、たばこを置いて、意識を集中してみたのです。**

努力はあまり実を結びませんでした。

そんなある日、わたしは自分でモルモン書を読んでみました。同時に、たばこも吸っていましたが、集中することができなかったので、たばこを置いて、意識を集中してみました。再び読み始めると、今度は読んでいる箇所がよく理解できるようになりました。しかも、理解できただけでなく、もっと知りたいと思うようになったのです。

その夜、わたしは信じられないようなすばらしい夢を見ました。救い主がわたしを招いて御自分の教会に入るよう言っておられる場面だったのです。目覚めたとき、顔には笑みが浮かび、気分も爽快でした。

それから数か月が経過しました。夫は依然として知恵の言葉を守り続けています。夫にはそうするだけの十分な理由があるのに違いないとわたしなりに思いましたが、わたし自身は生活に何の変化もありませんでした。

1990年の初めに、二人の姉妹宣教師と親しくなりました。二人は、わたしもたばこをやめることができるよう、断食をし、祈ってくれました。わたしにとってほんとうに大変なことでした。というのも、22年間も吸っていましたが、1日に40本くらい吸っていたのです。とう

とう、わたしはそのとき開けていた1箱を最後にして、バプテスマを受けると宣教師たちに宣言したのです。

1990年4月1日にたばこをやめ、その1週間後にバプテスマを受けました。末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であることをほんとうにうれしく思っています。夫が悪習をやめてくれたことに、そしてわたしに道を示してくれたことに感謝しています。■

ニコル・ジャームはフランス・リアルステーキ、カレーワードの会員です。

## 雪の中の飛行

W・ワード・ホルブルック

**あ**る冬の夜、特にひどい吹雪の晩のことでした。ユタ州との州境に近いアイダホ州の小さな村でひどい自動車事故があり、子供が重傷を負いました。当時わたしは、ソルトレーク・シティー地域の救急輸送機のパイロットでした。直ちに小型飛行機で飛び立ち、少女を救助して、ソルトレーク・シティーへ連れ帰ることになりました。

事故現場にいちばん近い空港は、アイダホ州ポカテロにありました。わたしたちの飛行機がソルトレーク・シティーからポカテロまでおよそ45分で到着したとしても、少女を乗せた救急車が吹雪の中を事故現場からポカテロに着くまで3時間近くかかるだろうと予測されました。わたしたち航空救急隊が救急車よりはるかに早く到着することになるでしょうが、担当の医師からは、救急車から少女をすぐに飛行機に移して救急センターへ搬送

できるように、できるだけ早く来て待機してほしいと要請されました。

ひどい天候でした。無事に着陸できる可能性は、極端に低いと思われました。わたしたちの飛行機より10分ほど前に、1機の小型飛行機がポカテロ空港に降りようとしていました。わたしは小型機のパイロットと地上との通信に必死で耳を傾けました。同じ状況で着陸しなければならないことが分かっていたからです。そのパイロットは通常の着陸を試みようとしていました。やがて滑走路が見えてくるはずで

した。しかし、滑走路は見えず、パイロットは着陸をあきらめて、上空で待機しなければならなくなったのです。

いよいよわたしたちの番です。非常に心配したのは、万一着陸できず、負傷した少女を搬送できずに帰らなけれ

ばならなくなった場合のことでした。そのとき、言葉に出さずに素早く祈りをささげました。「もし、天の御父がわたしたちに少女を搬送させたいと望まれるのならば、御父の助けが必要です。」

下降を始めました。まるで永遠の時間が過ぎていくような感じでした。目に入るものと言えば、灰色の雲と操縦席の前方のガラスに横なぐりに吹きつける雪だけでした。程なく、先の小型機と同様に、着陸できるかどうか見極めるポイントまで近づいてきました。最後の瞬間まで着陸の可能性を探りました。そして、突然、滑走路の照明が目に入ってきたのです。薄暗い照明でしたが、着陸には十分でした。出力を落とし、着陸しました。そして、自分がたった今経験した奇跡について、言葉に出さずに感謝の祈りをささげたのです。

駐機場まで進んで行く

**2** 時間近くたって、救急車が到着しました。わたしは操縦室のドアを開けて、外に出ました。





途中、二つのことが分かりました。一つは、吹雪がやむ様子がないこと。もう一つは、いつも飛行機の氷を除去し、悪天候から飛行機を保護するために格納庫を提供してくれる会社が、その夜はもう業務を終了していたことです。

それから数分後、あの小型機も無事着陸しました。その直後、管制塔の業務も終わり、管制官たちが帰宅しました。小型機の乗客と乗務員が帰ってしまうと、整備員も空港のターミナルビルに施錠をして、帰宅してしまいました。同僚とわたしだけが、飛行機の氷を取り除く手段も、格納庫へ入れる手段もないまま、残されました。その上、雪がさらに激しく降ってきました。翌朝まで飛行場を出ることができなくなる可能性がいよいよ現実味を帯びてきました。

航空救急隊員とわたしは、救急車の到着を待って天候を見るのが最善策だろうと判断しました。飛行機の窓から眺めると、あの小型機に雪がはりついていくのが見えます。その飛行機は、わたしたちからそれほど遠くない所に駐機しています。飛行機に雪か氷が少しでも付着したまま離陸を試みるのは危険なので、外の様子を見に行きました。雪は激しく降り続き、わたしたちの飛行機の翼にも氷着し始めていました。わたしはほかの人の視界から離れた場所まで歩いて行き、そこで、また祈りをささげました。

その夜は、時間の進み方がひどく遅く感じられました。時々、外を見て、あの小型機に少しずつ雪が積もっていく様子を眺めていました。しかし、わたしは外に出て、自分の飛行機の翼を点検しようとは思いませんでした。

2時間近くたって、救急車が少女を乗せて到着しました。わたしは操縦室のドアを開けて、外に出ました。例の小型機は雪と水で覆われています。わたしは振り向いて、自分の飛行機の

状態を見てみました。信仰を持つように努め、楽観的に考えようと努めてはいたのですが、恥ずかしいことに、自分が目にした光景に驚かざるを得ませんでした。飛行機の周囲を歩いて点検するうちに、感謝の涙がとめどなくあふれてきました。まったく何も積もっておらず、乾燥しています。飛行機には雪も氷もまったく付着していなかったのです。まるで暖房の効いた格納庫から出したばかりのようでした。雪も降りやんでいました。視界も、離陸が可能な程度にまで回復していました。

天の御父は、その夜、わたしたちが一人の少女を病院に搬送するために、必要な奇跡を起こしてくださいました。その晩、わたしは非常にへりくだり、大いなる祝福を受けたことに対する感謝

の念で満たされて、頭を垂れました。

ソルトレーク・シティーへ戻る飛行は、まったく通常どおりでした。間違いなく、わたしの祈りも、あの少女の家族や友人の祈りも、こたえられたのです。最終的にあの少女がどうなったのかについては、その後何も聞いていません。しかし、あの冬の夜、天の御父が子供たちに抱いておられる絶大な愛と哀れみについてのわたしの<sup>みかし</sup>証は、確かに強められたのです。■

W・ワード・ホルブルックは、カリフォルニア州サンディエゴ北ステーク、サンディエゴ第13ワードの会員です。

## 主の手に支えられ

テリー・フリー・ペパー

**初**めて福音について聞いたとき、とても感激し、福音のある人生を送りたいと思いました。いつか帰還宣教師と結婚し、子供をもうけ、いつまでも幸せに暮らす、というシナリオを心に描きました。それから、ほんとうにすばらしい男性を好きになりました。彼もやはり改宗者でした。彼が伝道を終えると、わたしたちはワシントンD.C.神殿で結婚しました。

5年がたち、二人の子供が生まれました。その日、わたしは独りで総大会の放送を見ていました。子供たちと夫は家に残っていました。

その日に味わった気持ちを決して忘れることはないだろうと思います。熱望していた「いつまでも幸せに」という生

活は、指の間から擦り抜けていったようでした。神殿で結婚した帰還宣教師の優しい夫は、教会に活発に集うことに疲れ果てていました。夫のために祈り、神殿の祈りのリストに夫の名前も加えてもらいました。それでも夫は教会に出席しない方を選びました。2歳になる息子が夫に向かって「パパ、一緒に教会に行こうよ」と言うのを、胸が張り裂ける思いで聞いていました。

遠いあの日、座って大会を見ていたわたしは、すばらしい説教の連続に心が高められましたが、同時に悲しみも感じていました。その場に夫にも一緒にいてほしいと切に望んでいたのです。二人はこの世の旅路を一緒に出発したはずでした。でも、違った道を歩んでいるのです。わたしは、歩み続

ける強さを必要としていました。生まれたばかりの赤ん坊と2歳になる子供を連れて独りで教会の席に着くのは、それだけでも難しい経験です。しかし、当時わたしたちは新しい町に住み、大きなワードに属していました。会員の多くは、夫と同じように学生でした。教会に集っていない夫を持つ会員は自分以外にはいないと思い、取り残された感じがしていました。無理に笑顔を作り、教会に集い続けていましたが、心の中はずっと惨めでした。

その日、大会の途中で会衆が立ち上がり、「主のみ言葉」を歌い始めました。でも、わたしは座ったままでした。立ち上がる気力がなかったのです。

歌は3節まで進みました。3節まで歌って終わることになっていました。そのとき、心の中に何か違ったものを感じたのです。何かが変わろうとしていました。歌詞を聞きながら、全身全霊が美しい御霊に包み込まれていったのです。

恐るな、われは汝が神  
常に汝と共にあり  
助け与え、強くして  
わが正しき力もて  
汝を支え、励まさん  
(『賛美歌』第46番)

そのときです。生涯で最大の驚きの瞬間が訪れました。だれかが文字どおりわたしを助けて立ち上がらせてくれたような感じがしたのです。辺りを見回しましたが、だれもいません。その瞬間から、わたしは変わりました。自分は独りではないことを知ったのです。そして、あの瞬間に、すべては良しといつか言える日が来ることを知ったのです。

**会**衆が賛美歌を  
歌っていたとき、  
わたしには  
立ち上がる気力も  
ありませんでした。  
しかし、歌が3節まで  
進んだとき、全身全霊が  
美しい御霊に  
包み込まれるのを  
感じたのです。

最近のある聖餐会でのことです。わたしは顔に笑みを浮かべていました。あの大会から18年がたっていました。夫は副監督を解任され、若い男性の会長に召されました。わたしも新しい召しを受け、生涯を通じて恐れていた職、そうです、扶助協会の会長に召されたのです。召しの重さに圧倒されながらも、閉会の賛美歌が、「主のみ言葉」だと発表されたときに、心が高鳴りました。その歌を歌う度に、いつも涙があ

ふれます。その日は特にとめどなく流れました。それは感謝の涙でした。そして、改めて、すべては良しと言える日が確実に来ることを知ったのです。■

テリー・フリー・ペーパーは、テキサス州アーリントンステーク、マンズフィールド第1ワードの会員です。



# 質疑応答

「何年も前に、誘惑には屈しないと決意して、これまでずっと耐えてきました。  
にもかかわらず、何度も同じ誘惑と戦っています。  
主はなぜわたしの決意を認めて、この誘惑を取り除いてくださらないのでしょうか。」

## 『リアホナ』からの提案

ニーファイ人の生活は楽なものではありませんでした。繰り返しレーマン人の攻撃を受けましたが、1,000年近い歴史のほとんどのにわたって、ニーファイ人は耐えてきました。ニーファイ人の決意が固かったのは明らかです。それなのに、どうして主はレーマン人を遠ざけてくださらなかったのでしょうか。

理由はたくさんありました。しかし、要は、人生が試しの時であるということに尽きます。わたしたちが現世にあるのは、どんなことがあっても主を選ぶことを証明するためだからです(アブラハム3:25参照)。

次のことを理解できれば助けになるかもしれません。

第1に、誘惑するのは神ではなく、サタンです。

第2に、神は試しの一部として、サタンがわたしたちを誘惑するのを許していらっしゃいます。しかし、サタンに制限を与えておられます。わたしたちは、耐えられないほどの誘惑にさらされることはありません(1コリント10:13参照)。

第3に、誘惑を感じることは罪ではありません。罪になるのは誘惑に負けたときです。

第4に、<sup>あやま</sup>過ちを犯すのは自分自身の決断の結果です。誘惑が強すぎると思えるとき、それは大概、誘惑を退ける機会があったときにそうしな

自分にとって誘惑になると分かっている状況避ける。

誘惑をもてあそんでいる時間が長ければ長いほど、耐えるのが難しくなる。

耐えられないほどの誘惑にさらされることはない。

誘惑を感じることは罪ではない。  
罪になるのは誘惑に負けたときである。

誘惑に負けたら、悔い改めて努力を続ける。

かったからです。過ちを犯すような状況に身を置くことによって、わたしたち自身が自分にとって最悪の敵となってしまいます。司令官モロナイがニーファイ人に立派な武具を与え、町を防壁で囲った後でも、防壁の外にさまよい出た人は簡単に敵の手に落ちました。

もし不道徳な思いが誘惑になっているなら、そんな思いの引き金になるようなテレビ番組や映画、音楽、ウェブサイトなどを避けていますか。それとも、防壁の外に出て、レーマン人がいるかどうか確かめようとしていませんか。戒めを守る真の決意があれば、誘惑からできるだけ遠く離れて生活しようとするはず(教義と聖約20:22参照)。

第5に、今直面している誘惑に耐えるとき、将来の誘惑に耐える力が与えられます。

第6に、誘惑を避けるあらゆる努力をしても、誘惑がやまないことがあります。サタンは決してあきらめないからです。しかし、神の標準に従って生きようと最善を尽くしていれば、備えができます。あなたの防壁は高く築かれ、武具は堅固になっているはずだからです。ニーファイ人は、最も義になかった状態であったとき、最も楽に敵を追い払うことができました。

第7に、神は誘惑から「のがれる道[を]備えて下さ」っています(1コリント10:13参照)。聖



## 読者からの提案

なる森でサタンの攻撃を受けたとき、ジョセフは祈りの力によって逃れることができました(ジョセフ・スミス - 歴史 1:15-16参照)。

最後に、だれにでもあり得るのですが、誘惑に負けることがあれば悔い改めによって神に立ち返ることができます。誘惑に立ち向かうことは、単に罪から逃れるということだけではありません。全身全霊で義を求めることなのです。

たとえ1,000回誘惑に耐えた後であっても、わたしたちは1,001回目にも神を選ぶことを、神に示す必要があります。



わたしたちが地球にやって来たのは、試しを受け、救い主のようになるためでした。主は、わたしたちが誘惑に直面するときにどうす

るか選択する自由をお与えになりました。主が誘惑を取り去られたら、わたしたちは自らを証明することも永遠の命を受け継ぐこともできなくなってしまおうでしょう。

テキサス州サンアントニオ東ステーク  
ハイカントリーワード  
レベッカ・L・ラングハム, 16歳



誘惑がなくなることはないかもしれませんが、大事なのは誘惑と戦おうという決意です。主はあなたの決意の固さを御存じで

すが、あなたを試すために誘惑はいつもあるでしょう。あなたの役割は、それに打ち勝ち、二度と煩されないようにすることです。

アイダホ州アイダホフォールズ・  
イーグルロックステーク  
セージビューワード  
ステファニー・ホール, 15歳

地上の生活は神に会う備えをし、務めを果たす時期だということを忘れないようにしましょう(アルマ34:32参照)。神は理由があってわたしたちに試練をお与えになります。それは、わたしたちの忍耐を試すためです(モーサヤ23:21参照)。

フィリピン・イバ地方部

パラウイグ支部

バーナデット・L・アーブヤン, 19歳



司令官モロナイとその民は戦いに備えました(アルマ50:1-5参照)。わたしたちにも毎日備えなければならない戦いがあります。祈り、聖文研究、教会への出席、それに戒

めを守る努力をすることによって、誘惑に打ち勝つことができます。

オーストラリア・シドニー北伝道部

ピーター・J・ギヤブ長老, 22歳

主は「このたぐいは、<sup>いのり だんじき</sup>祈と断食とによらなければ、追いつくことはできない」と言われました(マタイ17:21)。断食して祈り、主に従えば、今までに経験したことの無い力が得られます。監督と話してください。主に頼ってください。

バージニア州ニューポートニューズステーキ

ポコソワード

デイン・J・リンフォード, 15歳



誘惑に耐えることは、最後まで堪え忍ぶようにという天の御父の教えに従順であることを御父に示す機会となります。主はわたしたち一人一人を個人的に御存じで、克服でき

ない誘惑をお与えにならないことを思い出してください。

カリフォルニア州サンフランシスコ伝道部

クレイグ・A・ケリー長老, 21歳



正しい選択をすれば、主のもとに戻ることができます。ニューファイ第二書第2章の11節と16節で、主は「すべての事物には反対のものがなければならぬ」とし、「人は、一方に誘われるか他方に誘われるかでなければ、思いのままに行動することはできぬ」と言われています。



**「決** 断を下すとき、皆さんは細い声を通して承認や警告を受け取ることでしょう。聖霊は皆さんが悪から離れるよう導き、道に迷ってさまようときに連れ戻して下さいます。」

承認や警告を

受けることでしょう。

聖霊は皆さんが

悪から離れるよう導き、道に迷ってさまようときに連れ戻して下さいます。」

十二使徒定員会会長代理

ボイド・K・バック

「真理の標準は確立された」

「リアホナ」2003年11月号,

26

ブラジル・オリンダ・パウリスタステーキ

パウアマレロワード

アンデルソン・スウォロン, 17歳

「現世は人が神にお会いする用意をする時期」だということを忘れてはなりません(アルマ34:32)。誘惑に打ち勝つには、堅固な<sup>もと</sup>基の上に立つ必要があります(ヒラマン5:12参照)。主の戒めに忠実であるという決意を固く持ち続けなければなりません。

ポルトガル・リスボン・オエイラスステーキ

ケルーズワード

セリオ・フェレーラ, 18歳



祈りと聖文の研究を毎日続け、誘惑に打ち勝つ最善の努力を続けてください。今までよく頑張ってきましたね。天の御父はあなたを愛しておられるので、失敗するような状況に

あなたを追い込むことなど決してなさいません。

ノースカロライナ州フェイエットビルステーキ

ホープミルズ第1ワード

サラ・ロバートソン, 16歳

本誌の答えは、問題解決の一助となるように意図されたものであり、教会の教義を公式に宣言するものではありません。

## あなたの意見を聞かせてください

青少年の読者の皆さんへ——下記の質問に対する意見を、氏名、生年月日、ワードおよびステーキ(または支部および地方部)を明記のうえ、写真を添えて、2004年11月15日必着で下記まで郵送か電子メールでお送りください。

あて先——Questions and Answers 11/04

50 East North Temple Street, Floor 24

Salt Lake City, UT 84150-3220, USA

電子メールアドレス——cur-liahona-imag@ldschurch.org

## 質問

「家庭の夕べ、家族の祈り、そして家族の聖文研究を始めるよう家族を動機づけるために、どんな助けができるでしょうか。」 ■

# 夢がかなう日

ふさわしい人と、ふさわしいときに、ふさわしい場所で、  
ふさわしい権能によって結婚することを目標とするなら、  
夢を実現することができます。

(トーマス・S・モンソン『聖徒の道』1997年1月号, 53参照)





# 永遠の愛

ジャネット・トーマス

教会機関誌

神殿で結婚することは、  
すべての教会員が  
持つべき  
価値ある目標です。  
教会の活動は  
ヤングアダルトにとって、  
ふさわしい人と  
出会える  
ふさわしい場所です。

**か**つては世界中の多くの教会員にとって、神殿結婚の夢をかなえるのは途方もない望みのように思われました。神殿はたいていはるか遠い所にあったため、神殿結婚を真剣に考えるなどということは、おとぎ話のように思われたのです。しかし、神殿が次々に建てられるようになり、新婚生活を神殿での結び固めという祝福でスタートさせることのできる夫婦が増えています。

しかしながら、結婚の前には交際期間が必要です。末日聖徒の若い男女はどこで知り合っているのでしょうか。また、神殿参入のためにどのような準備をしているのでしょうか。

以下は、最近神殿で結婚した何組かの若い夫婦の話です。彼らがどこでどうやって出会い、神殿結婚という共通の目標に向かってどのように進み、努力する中でどうやって幸せを手に入れたかを知れば、将来神殿で結婚したいと望む人々の励みとなるのではないのでしょうか。

これらの話には幾つかの共通点があります。第1に、たいていの夫婦が教会の活動で出会っているということです。しかも、活動に参加するために、ほとんどの場合大変な努力を払って

います。第2に、彼らは神殿結婚という目標を立てています。第3に、ふさわしい生活をして神殿参入に備えています。

## ジャスティン・ウォーカー、ティファニー・ウォーカー夫妻——アメリカ合衆国

ジャスティンとティファニーは、現在学業を終えるためにユタに住んでいますが、生まれ育った地は互いに何百キロも離れています。ティファニーはオハイオ州コロンバスで育ちましたが、ジャスティンの家族はバージニア州ロアノークに住んでいました。どちらも末日聖徒が周りにあまりいない地域です。この二人が出会えたのはとりもおさず、教会員の中で学べる学校に行くためにあらゆる努力を払う決意をしたからです。二人は、ブリガム・ヤング大学アイダホ校に進学することにしました。地質学の授業で隣り合わせの席に割り当てられましたが、イギリス・ロンドン南伝道部の帰還宣教師であるジャスティンは、最初あまり口を開きませんでした。(授業に集中したかっただけだと本人は言っています。)しかし、二人が楽しく語り合うようになるまでには、そう長い時



ティファニー・ウォーカー, ジャスティン・ウォーカー夫妻——アメリカ合衆国



間はかかりませんでした。

親交が深まってくると、二人は結婚を前提としてつきあうようになりました。とは言っても夏休みの間は遠く離れていたため、交際期間は2年半以上に及びました。その間ティファニーとジャスティンは、自分たちが神殿結婚という確固とした望みを持っていることを確かめ合いました。ティファニーは次のように言っています。「わたしが神殿で結婚したいと思うようになったのは、神殿でしか交わせない特別な聖約があるということが分かってからです。ほかのどこでもなく、神殿で結婚すれば間違いのないということが分かったのです。」

### アリエス・ジャンセンズ、ロウェナ・ジャンセンズ夫妻——イギリス

アリエスとロウェナが出会ったのは、ヤングシングルアダルトのダンスパーティーでした。そのときはお互いにちらっと見ただけで、話はしませんでした。6か月後、アリエスはあるヤングシングルアダルトの引っ越しを祝う活動で、190キロ離れたロウェナのいる学生寮に友達2、3人と一緒に行きました。アリエスはこう言います。「ヤングシングルアダルトがこんなに散らばって住んでいるのですから、このようなことは珍しくありません。」

二人ともダンスパーティーでのことを覚えていたため、アリエスはすぐさまロウェナとその妹をウェークボード(訳注——水上スキーに似たスポーツ。スキー板の代わりに1枚のボードで滑る)に誘いました。結局、遠すぎてアリエスには二人

の送り迎えが難しかったため計画は実現しませんでした。けれどもこれ以降、月に2、3回ダンスパーティーや活動で会うようになり、いい友達になりました。そして互いを思う気持ちが強くなるにつれ、電話でも頻繁に話すようになりました。

ロウェナはこう言っています。「わたしたちの気持ちは、これまでのどんなボーイフレンドやガールフレンドに対しても抱いたことがないほど強いものでした。わたしたちはお互いに、相手にとって最高の自分になろうという望みを持っていました。」

アリエスはプロポーズすることにしました。まず、内緒で指輪を買い、ロウェナの父親から結婚の許可をもらうという恐ろしい課題も済ませました。そしてアリエスが子供のころよく遊び回った美しい滝までロウェナとハイキングに行く計画を立てたのです。アリエスが指輪を取り出すためにしゃがみ込んでバックパックの中をごそごと探し始めると、ロウェナはアリエスが何をすることも時間のかかる人だと思い、こう尋ねました。「わたしとの関係で、何か変えたいと思っていることでもあるのかしら。」

「そうなんだ。大ありだよ。」アリエスはそう答えると、指輪の入った箱を引っ張り出しました。

二人は直ちに結婚の計画を立て始め、10週間後、イギリス・プレストン神殿で結婚しました。神殿で結び固めを執行したのは、ロウェナの祖父でした。

ロウェナはこう言います。「結婚式の日に感じた御霊は一日中とても強かったので、教会員でない家族や友人に福音を紹介する最高の機会となりました。わたしたちは、この世に永遠の結婚以上に大切なことはないと感じました。交際期間中にお互いを励まし合えたことに感謝しています。励まし合うことにより、ふさわしい状態で天の御父の宮に行き、神聖な聖約を交わすことができたのです。この聖約は、現在の結婚生活の指針となっています。」

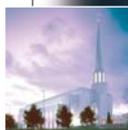
### バンネンエン カーボー ホンゴン 彭景揚、嘉寶夫妻——香港

バプテスマを受けて間もないころ、嘉寶は姉妹宣教師からインスティテュートに出席するよう勧められました。インスティテュートは土曜日の早朝に開かれていたため、嘉寶は早起して授業に間に合うように出かけるのが大変だったことを覚えています。

クラスメートの一人が、毎週土曜日の朝に電話で嘉寶を起こし、授業に出席できるようにしてくれました。あるときそのクラスメートが、景に嘉寶への電話を頼みました。それが、二人が親しくなったきっかけでした。



アリエス・ジャンセンズ、ロウェナ・ジャンセンズ夫妻——イギリス



左挿入——イギリス・プレストン神殿の写真／ジョン・ルーク・右挿入——中国香港神殿の写真／クレイグ・ダイモント



カーボー 嘉寶, パン キンユン 彭景揚夫妻——香港

嘉寶はこう言います。「教会の活動のおかげで、わたしたちはお互いをよく知ることができるようになりました。」二人の初めてのデートは、ヤングシングルアダルトを対象としたダンス教室でした。

嘉寶と景は4年間交際しました。景は嘉寶が祖母や弟に福音を伝えるのを助けました。景が結婚を申し込んだ夜、二人は嘉寶の通う夜間学校の校庭で待ち合わせました。嘉寶は大きな試験を終えたばかりで疲れ果てていましたが、プロポーズの言葉と一緒に指輪を渡されたとき、疲れは吹き飛んでしまいました。

二人は中国香港神殿で結婚しました。嘉寶はこう言います。「神殿で結び固められた日のことは一生忘れません。永遠に一緒にいられるなんて、こんなにすばらしく、うれしいことはありません。涙が止まらず、胸がいっぱいで、その思いを言葉にすることもできませんでした。わたしは神殿が大好きです。自分の国にある神殿に参入できるのは、大きな祝福です。

神殿結婚が与える影響は、わたしたちだけにとどまりません。子供や、孫にまで及びます。夫婦が地上で同じ目的と目標を持つことは、非常に大切です。福音を愛しています。また、わたしの永遠の伴侶を愛しています。」

### トゥルライイ・テトゥル, タイアナ・テトゥル 夫妻——タヒチ

タイアナはこう言います。「神殿結婚したいというわたしの望みは、12歳のころにはどんどん強いものになっていました。それは、単なる目標ではありませんでした。わたしは、神殿で

結婚するのにふさわしい人間になりたかったのです。ですから、そのために努力しました。特に『成長するわたし』が役に立ちました。両親や若い女性の指導者など、助けてくれる人もたくさんいました。それに、教会の多くの活動が、道をそれないための助けとなりました。」

これに対してトゥルライイは、教会員になってまだそれほどたっていません。教会に入ったのは25歳のときでした。「でも、福音を受け入れて、その祝福がよく分かるようになると、すぐに神殿結婚の目標を立てました。」トゥルライイはそう語ります。

トゥルライイとタイアナは、あるコーラスのり

神殿が  
世界中で建てられる  
ようになり、  
さらに多くの  
末日聖徒が  
神殿で結婚できる  
ようになっています。



トゥルライイ・テトゥル, タイアナ・テトゥル夫妻——タヒチ



ハーサルで知り合いました。教会が主催する復活祭のコンサートファイヤサイドで発表するコーラスに参加していたのです。コーラスの発表を終えて親しくなった二人は、交際を始めました。結婚を決めたのは、隣の島で開かれたヤングシングルアダルトの大会に出席したときのことでした。大会から帰ると二人は監督に話し、タヒチ・パペエテ神殿で結婚する計画に取りかかりました。

神殿結婚を目指して努力することによって、互いをよく知ることができるようになったとトゥルライイは言います。「教会に入って以来、神殿で結婚することはわたしの目標であり、望みでした。タイアナと出会ってからは、それが二人の目標となり、望みとなったのです。」

### アレクサンダー・サラフィアン、レーチェル・サラフィアン 夫妻——オーストラリア

アレクサンダーとレーチェルの共通の友達が、ヤングシングルアダルトの活動で二人を引き合わせました。けれども、実際に二人が初めて言葉を交わしたのは、ブリスベーンで開かれたヤングシングルアダルト大会でのことです。軽食が用意してある部屋を出ようとしたときに、アレクサンダーの方からレーチェルに声をかけました。そのころレーチェルには悩みがあり、話を聞いてくれる人を探していました。二人は学生寮の芝生に腰を下ろすと、話し始めました。

アレクサンダーはレーチェルの誕生日にデートの約束をしましたが、初めてのデートの前にアレクサンダーはオートバイの事故で入院してしまいました。二人は病院で多くの時間を一緒に過ごすようになりました。しかし、住まいが遠く離れていたために結局は別れてしまい、それぞれ別個の道を歩むようになりました。

1年以上たったころ、アレクサンダーは新しいオートバイを買いました。ところが、そのバイクで教会から帰る途中、車にはねられてまた入院してしまったのです。レーチェルの母親が事故のことを聞き、娘に伝えると、レーチェルは一大決心をして、はるばるブリスベーンからシドニーまでアレクサンダーの見舞いに行きました。

アレクサンダーはこう言います。「わたしは、レーチェルのことが忘れられませんでした。レーチェルもそうだったことでしょう。わたしを見舞うためだけに、わざわざブリスベーンからやって来たのですから。」以前交際していたころにも結婚について話したことがありますが、今はそれについて互いに祈るべき時ではないかと、アレクサンダーは自分

の気持ちを伝えました。この問いかけにレーチェルは驚いたものの、祈ることにしました。

アレクサンダーはすでに祈りの答えを受けていました。レーチェルも祈ったときに、アレクサンダーと結婚すべきだと感じました。アレクサンダーはレーチェルにとって最高の友達でした。

まだ足のギブスは取れていませんでしたが、アレクサンダーは初めて二人が言葉を交わしたあの芝生にレーチェルを連れて行き、海が見渡せるベンチに腰を下ろしました。そこで、正式に結婚を申し込んだのです。

家族や友人の助けもあって、3か月後にレーチェルはシドニーに移り、神殿結婚の計画を立てました。アレクサンダーとレーチェルにとって、神殿での結び固めとは、永遠の結婚生活を二人で作りに上げていくという決意と約束の象徴なのです。■



レーチェル・サラフィアン、アレクサンダー・サラフィアン夫妻——オーストラリア

# 神殿結婚の 計画を立てる

おめでとうございます。あなたは、永遠に一緒に過ごしたいと願う、愛する人と婚約しました。やがて迎える神殿結婚についてたくさんの疑問を持っていることでしょう。以下にあるのは、婚約中の末日聖徒のカップルから頻繁に尋ねられる質問への答えです。

## **神殿結婚の日取りはどのように決めますか。**

結婚式を行いたいと思う神殿に電話し、結婚の日取りと時間の予定を決めます。神殿の開館時間および閉館期間を考慮に入れることを忘れないようにしましょう。監督や支部長に神殿の電話番号を尋ねるとよいでしょう。また、末日聖徒のすべての神殿の連絡先と開館時間は、<http://www.lds.org> で確認することができます。“Temples”をクリックしてください。

**神殿結婚のどれくらい前に、監督あるいは支部長と神殿推薦状のための面接の予約をするべきでしょうか。神殿推薦状を受けるために知っておくべきことがほかにありますか。**

監督または支部長、ステーク会長または伝道部長との面接を予約する際には、互いに時間的余裕のないまま焦って面接に臨むことのないよう、十分に前もって予約を取るよ



**神殿結婚の計画は、正しい手順を知っていればそれほど難しいことではありません。覚えておくべき大切なことは、結び固めの日取りと時間の予約、監督とステーク会長（または支部長と伝道部長）との神殿推薦状のための面接、必要な場合は結婚許可証の取得などです。**

うにします。神殿で結び固めをするためには、ふさわしく、すでにエンダウメントを受けていなければなりません。また、神殿推薦状を得るためには、教会員になって1年を経過している必要があります。あなたと婚約者はそれぞれ、監督または支部長、ステーク会長または伝道部長の署名のある二つの推薦状を持っていなければなりません。「神殿推薦状」と「生者のための儀式用推薦状」です。

#### **結婚許可証はいつ、どこで手に入れますか。**

神殿の儀式が行われる前に、結婚許可証をはじめ、住んでいる地域の法律で結婚に際して定められたすべての要件を満たしておく必要があります。役所に電話して、自分の地域では何が必要なのかを確認してください。費用が幾らかかるか、結婚許可証の有効期間がどのくらいか、また結婚許可証を取れるまでにどれほど時間がかかるか、結婚許可証は結婚式からどれほどの期間内に該当する役所に提出しなければいけないかなどを忘れずに尋ねましょう。（訳注——日本には結婚許可証がありません。婚姻届けの手続きについては神殿事務所にお尋ねください。）

#### **神殿で結婚するために費用は幾らかかりますか。**

神殿で結婚するためにお金はかかりません。しかし、神殿衣の貸与を行う神殿で神殿衣を借りる場合には、そのための費用が多少必要です。

#### **神殿結婚には、何を着て行くべきでしょうか。**

カップルと参列者は、教会に着ていく服の中でも最良のものを着て神殿に行くべきです。

神殿の中で花嫁が儀式の間に着用するドレスは、長そで、慎み深く、白く、過度の装飾がされていないものである必要があります。また、神殿内で着るドレスは、襟ぐりが詰まったものでなければなりません。長くすそを引いたドレスを神殿内で着ることは許されていませんが、儀式のためにドレスのすそを取り外したり、ホックなどでたくし上げたりできるものは着用できます。タキシードや

飾り帯、礼装用のベールや帽子、花などを結び固めの部屋で身に着けることは、適切ではありません。衣服についての具体的な質問があるときは、結婚式を行う神殿に電話し、さらに指示や助言を受けてください。

花婿は、儀式中は神殿衣を身に着け、その後希望するならば、写真撮影のために適切な衣服に着替えます。花嫁も、儀式中は神殿衣を着用し、後に適切なウェディングドレスに着替えることができます。



#### **神殿結婚にはだれを招待することができますか。**

神殿結婚には、家族や親しい友人を招待するとよいでしょう。参列者はエンダウメントをすでに受けていて、有効な神殿推薦状を保持している教会員に限られます。どの神殿にも、様々な広さの結び固めの部屋があります。儀式の予定を決める際、神殿の担当者は結び固めに参列する人数を尋ねるとともに、参列者が何時に神殿に来たらよいかを教えてください。

#### **教会員でない家族がいる場合はどうしますか。**

神殿に入ることができない家族や友人は、可能であれば神殿の待合室で、そうでなければ神殿の敷地内で待つことができます。ホームティーチャー、監督または支部長、そのほかの適切な教会員に頼んで、神殿の儀式に参列できない人々とともに待ち、神殿結婚の神聖さ<sup>あかし</sup>について証を述べてもらうこともできます。

### 外国語を話す出席者がいる場合はどうしますか。

神殿の儀式のときに通訳が必要な場合は、前もって神殿に連絡し、協力が得られるかどうか確認してください。

### 神殿内で指輪の交換を行うことができますか。

結婚の儀式の後、結び固めの部屋で指輪の交換を行うことができます。神殿は、指輪の交換に関する指針を定めています。指輪の交換は儀式の一部ではありません。また、神殿の敷地内のほかの場所で指輪を交換することは適切ではありません。

### 慣習

結婚式で米を投げたり、クラクションを鳴らしたり、車を装飾したりするのを見たことがあります。これらの慣習を神殿の敷地内で行うことは適切ではありません。

### 写真撮影

神殿内での写真撮影はもちろん許可されていませんが、神殿の敷地内ではほとんどどこでも結婚写真を撮ることができます。

### 披露宴

神殿結婚の後に披露宴や祝い事を行う場合には、なるべく質素なものにしてください。結婚当日の最も重要な出来事は神聖な結婚の儀式です。神権の権能によ

り、自分の愛する人と永遠に結び固められるのです。結婚当日は家族とごく親しい友人との日とし、永遠の結婚の重要性を薄れさせてしまうようなほかの祝い事を行わないよう気をつけましょう。

### 緊張しない

神殿に入ったことがなくても、結び固めの儀式で何が行われるかをよく知らなくても、心配しないでください。愛情に満ちた奉仕者や、すでにエンダウメントを受けている家族や友人が、神殿内で手助けをしてくれることでしょう。



### 神殿の外で誓いの言葉を交わすことができますか。

神殿で結婚した後に、すなわち互いと主との間で神聖な聖約を交わした後に誓いの言葉を交わすことは適切ではありません。ただし、法律により先に神殿外で結婚することが義務づけられている地域もあります。

### 神殿結婚の儀式の時間はどのくらいですか。

結び固めの儀式は、通常約20分から30分ほどです。神殿の担当者が、結び固めの儀式のどのくらい前に神殿に来て準備を整えたらよいか教えてくれます。

### 近くに神殿がないときはどうしたらよいでしょうか。

神殿結婚はどのような犠牲をも払う価値があります。最も近い神殿までの旅費がたまるまで、長い期間待つカップルはたくさんいます。神殿外で結婚した場合、神殿で結び固めを受けるのに少なくとも1年間待つ必要があります。ただし、住んでいる地域の法律により神殿外の結婚を先に行う必要がある場合はこの限りではありません。監督または支部長がさらに助言してくれるでしょう。

### ほかに知っておくべきことがありますか。

神殿結婚の儀式には、男性の証人が二人必要です。証人は、すでにエンダウメントを受けているふさわしいメルキゼデク神権者で、有効な推薦状を持っていなければなりません。多くの場合、花嫁と花婿の父親が証人になります。父親以外のふさわしい神権者を選ぶか、神殿に頼んで二人の証人を手配してもらうこともできます。■

# 正しいデート

## 結婚に向けた 穏やかな航海のために



デートをする中で、  
永續する力を持ち、  
結婚の  
堅固な土台となる  
友情を求めてください。

中央若い女性会長  
スーザン・W・タナー

**友**情(friendship), 交際期間(courtship),  
そして肉体的な関係(physical relationship)という3つの「シップ」(ship)について福音がどう教えているか話したいと思います。

第1に、友情は福音の原則です。人が精神的にも霊的にも幸せになるために欠かせないものです。第2に、友情は交際期間や結婚生活における互いの関係が築かれ、はぐくまれる土台となります。第3に、結婚前に肉体的な関係を持つことは、強い友情という土台を形成するうえで妨げとなります。しかし、結婚後の肉体的な関係は友情をさらに深めます。

### 友情

友情はあなたにとってどれくらい大切なものですか。友情はどのように生活に祝福をもたらしてくれるのでしょうか。友達がいないと感じたことはありますか。孤独感を抱いたり、友達がいないと感じたりするのはつらいものです。友情は、人が幸福になるために必要なものです。あればよいというだけでなく、不可欠です。人は皆、友達を得たいと心から望みます。普遍的に必要なのです。

以下の情報は、今年の夏に何度か個人旅行をした、若い女性中央管理会の一人のおかげではっきり分かったものです。彼女は旅行を

しながら、アイダホ州、ブラジル、モンゴル、ロシアの若い女性を訪ねました。各地で、若い女性の生活に関する質問をし、回答をまとめました。その質問の内容とそれぞれに対して最も多かった回答は次のとおりです。

質問——あなたを幸せにしてくれるものは何ですか。回答——友達。

あなたにとって最大の心配事は何ですか。友達。

自由時間に何をするのが好きですか。友達と一緒に過ごすこと。

あなたは何についていちばんよく考えますか。友達について。

どうして若い女性はミューチャルに出席しないと思いますか。友達がいないから。

どうして若い女性はあまり活発に教会に集わなくなるのでしょうか。友達からの圧力があるから。

驚きではありませんか。友達は、世界中の若い女性にとって非常に重要なものなのです。若い男性も似たような回答をすることでしょう。大部分の大人だって同じです。だれでも友達を必要としているのです。

預言者は、交わした聖約を守るうえで友情は必須要素であると教えています。モルモンひっすの泉でアルマの民が示した模範について考えてみてください。彼らはモルモンひっすの泉で、神の羊の群れに入りたいという望みを表しました。アルマは民に、互いの重荷を負い合い、悲しむ者とともに悲しみ、慰めの必要な者を慰め

る望みがあるかを尋ねました。つまり、友達として行動する聖約を交わす意志があるかどうか尋ねました。民はそのような聖約に入ることを、手をたたいて喜びました。そして、互いに和合し、愛し合って結ばれた心を持ちました。これは友情の模範を示すすばらしい聖句です(モーサヤ18章参照)。

最も偉大な友情の模範は、イエス・キリストが示してくださっています。「友」とは、主が弟子たちに払われた最高の敬意の表現でした。主はこのように言われました。

「わたしのいましめは、これである。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。

人がその友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない。

……あなたがたはわたしの友である。

わたしはもう、あなたがたを僕とは呼ばない。僕は主人のしていることを知らないからである。わたしはあなたがたを友と呼んだ。わたしの父から聞いたことを皆、あなたがたに知らせたからである。」(ヨハネ15:12-15)

もし友情が預言者や救い主の教えの中でこれほど重要であるならば、わたしたちは偉大な、聖約を守る友となるように努めるべきではないでしょうか。そのような友となることはキリストに似た者となることであり、そのような友を持つことは天に似た環境を生みます。わたしたちは末日聖徒として、昇栄とは真の友である救い主、そして主に似た者となった人々とともに永遠に住まう特権にあずかることだと知っています。聖文には次の栄えある約束が記されています。「ここでわたしたちの間にある交わりが、そこでもわたしたちの間にある。ただし、その交わりには、わたしたちが今享受していない永遠の栄光が伴う。」(教義と聖約130:2)

## 交際期間

第2の「シップ」すなわち交際期間(courtship)における関係について話しましょう。友情は交際期間と結婚生活において鍵となるべきものです。交際期間は友情という土台の上に築かれるものだと思います。これを分かりやすくするために、ある話をしましょう。

この話はアイザック(イサク)とレベッカ(リベカ)の話です。しかし、聖書に登場する話ではありません。わたしの娘のレベッカと彼女の求婚者アイザックの話です。我が家のレベッカは旧約聖書のリベカほどすぐにアイザックと結婚するようという促しを受けたわけではありません。また、自分の今の生活を犠牲にして、すぐに家族と離れ、ほかの人と生活する決意も容易にできませんでした。

我が家のベッキー(レベッカの愛称)は21歳でした。ブリガム・ヤング大学を通してアフリカのモザンビークで行われる夏期研修を



友情は、  
**友**人が幸福になるために必要なものです。あればよいというだけでなく、不可欠です。人は皆、友達を得たいと心から望みます。普遍的に必要なのです。





申し込んでいました。伝道に出ようか決めかねていましたが、歯医者や医者への予約を入れるなど、少しずつ準備を始めていました。また、当時勉強している分野で修士号を取得することも考えていました。要するに、人生で次に進むべき道を模索していたのです。わたしたち家族は、3つのM、すなわちモザンビーク(Mozambique)、伝道(Mission)、修士号(Master)の中でどれが選ばれるのだろうかと考えていました。

ベッキーが迷っている間、アイザックが現れて、4つ目のM、すなわち結婚(Marriage)という選択肢を加えました。彼は数か月後には医学校に行くことになっていて、結婚してベッキーを連れて行きたいと考えていました。アイザックは後で、自分なりの3つのMがあって、ベッキーに選んでほしいと思っていたと打ち明けてくれました。3つのMとは、結婚(Marriage)、医学校(Medical School)、そしていずれは母親業(Motherhood)です。アイザックはこのように語っています。「もしベッキーが選んでくれなかったら、わたしは4つ目のMである『悲惨な状態』(miserable)になるところでした。」

ベッキーは21世紀に生きる女性でした。世の中と世の中のきらびやかな機会が目の前に開かれていて、自分の夢をわきに置くのは難しいことでした。最後の決め手となったのは、アイザックがベッキーに示した生来の善良さと親切でした。また、アイザックは、美しい花束を贈ったり、楽しいデートに連れて行ったりと、ロマンチックなこともしました。

しかし、それだけではベッキーの心をつかむことはできませんでした。ベッキーの心を最もつかんだのは、アイザックが常にベッキーの気持ちを、また彼女が必要としている事柄を自分よりも優先したことでした。人が友として相手にするような、小さな、思いやりのあることをしたのです。例えば、ベッキーの腕時計のベルトサイズが彼女の手首よりも大きいことを知ったとき、ベルトから幾つかの環を外し、ぴったり合うようにしてくれました。また、別のときに、ベッキーは自分の車が内も外も掃除をしてきれいに磨かれていることに気づきました。ベッキーに頼まれてもいないのにアイザックが彼女の車を洗っておいてくれたのです。あるときベッキーは、アイザックが自分を改善するために作成したリストを見つけました。そのリストに挙げられている目標の多くは、人に仕

えることを目指したものでした。これらの親切な行いは、友情がいつまでも続くことを表していました。アイザックの言動は、身体的な美しさが薄れた後も続く、人格的な特質を示していたのです。

ベッキーは、良いときも悪いときも堪え忍ぶような特質、つまり良い友に望むような特質をアイザックが備えていることに気づきました。こういうわけで、アイザックと結婚したのです。そして、ベッキーは今、アイザックのすばらしい長所が二人の関係を強めてくれるという自分の予想は正しかったと言います。ベッキーは親友と結婚したように感じています。結婚とは、本来そうあるべきものなのです。

このように、友情はロマンチックな愛、つまり交際期間や結婚へと続く、愛の土台を築き上げるのです。同様に、友情とロマンチックな愛はともに、「キリストの純粋な愛」である慈愛の上に築かれるときのみ(モロナイ7:47)、神が本来意図されているものになり得ます。モロナイ書やコリント人への第一の手紙にあるように、慈愛は忍耐強く、長く堪え忍び、親切であり、ねたまず、自分の利益を求めないものです。慈愛を通じて夫婦は、真理を喜び、信じ、希望を抱き、堪え忍ぶことができます。慈愛に基づいた愛を持つ夫婦は互いのために最良のものを望みます。そのような夫婦の愛は、キリストの純粋な愛に満たされています。このような特質こそ交際期間や結婚生活に求めるべき特質です(1コリント13:4-7;モロナイ7:45参照)。

強固な、愛ある関係を築くための一つの方法は、率直なコミュニケーションを図ることです。コミュニケーションは、良い関係を作り出し、持続させるための手段です。まだ結婚していない我が家の子供たちは、どのようにして男女が結婚するに至るのかよく尋ねてきます。あまりにもなぞめいたパズルのように思えるからです。夫婦のなれそめ話は百人百様です。しかし、大部分のなれそめ話には少なくとも一つの共通点があるようです。会話が自然に弾む。多くの夫婦はこのように言います。「ただずっと話していました。時間を忘れて話し込みました。話すことが心地よかったです。同じユーモアのセンスを持っていました。共通の趣味や価値観について話すのが大好きでした。」

わたしが夫と最初のデートに出かけたときまさしくそのような経験をしました。その晩ずっと、周りに人がいたものの、たった二人でいるような心地でした。ジョンとわたしは絶え間なく話しました。

「愛とは長い会話である」という言葉を聞いたことがあります。わたしもそのとおりだと思います。実際、わたしは子供たちに、「パパとママの間に話すことがなくなってしまったら、

二人の結婚生活は行き詰まるでしょうね」と冗談を言っているくらいです。このような冗談を気がねなく言えるのは、夫とわたしが何についても互いに話すのが大好きだからでしょう。

友情における非常に楽しいこのコミュニケーションは、人のより深い面を知るうえでも欠かせません。うわべだけの会話を抜け出せないために、二人の関係が実際に発展しないことがあります。

時折、わたしたちは興味をそそられる場所に幸福を探したり、神秘的なもの、金銭、魅力などの中にロマンスを求めたりします。あるいは外見だけを求めることがあります。そうではなく、キリストのような特質を持つ友達を探す必要があります。デートをする中で、永続する力を持ち、結婚の堅固な土台となる友情を求めてください。二人の関係に堅い、徳高い基を築いて初めて、結婚して肉体的な関係を築く備えができるのです。

### 肉体的な関係

男女の間の肉体的な関係は、素晴らしいもの、善なるもの、そして美しい祝福になり得ます。しかし、ロマンスの中の肉体的な部分が二人の関係に早く訪れすぎると、肉体的な関係が先導してしまいます。そうすると、本末転倒です。肉体的な感情は強力で、刺激的です。そのようなものとして作られたのです。しかし、だからこそ、結婚して、二人の関係における基本的な部分が確立するまでは、肉体的な感情は定められた範囲にとどめるべきなのです。

わたしたちは、子供たちの盾となるようにと願って、幾つかの原則を教えました。危険や決断に迫られたときに思い出しやすいように、簡潔な表現にしました。その中から、皆さんが覚えて、その言葉のとおりに行動すれば、皆さんの盾ともなる原則を4つだけ紹介しましょう。

**1. 暗闇の危険を回避する。** 文字どおり、そして象徴的にも、いつも明るい場所にいるようにしましょう。玄関先、居間、ダンスパーティーで照明をつけておくことは賢明です。また、気持ちが暗くなったり

する場所、よくない雰囲気を感じる場所を避けることも安全策となります。

**2. 水平になるすきを作らない。** デートの相手と一緒に体を横たえることはしないでください。映画を見るときも、本を読むときも、あるいはピクニックで休むときも、決して相手と横になったりしないでください。

**3. 人目につかない場所に潜む危険性を覚えておく。** 二人きりになるにも、公の場所を見つけましょう。人のいる所でも親しい会話ができるようにしましょう。じゃまが入りやすい所で一緒にいることは、大きな安全を手に入れたようなものです。

**4. 常に慎み深く。** 外見、言葉遣い、行動のすべてにおいて、文字どおり天の御父の霊の息子と娘であることを表すべきです。天の御父の計画の中で、体がいかに大切であるかを真に理解するなら、自分の体に対して深い敬意を払うことでしょう。慎み深い服装と言動をするなら、周りの人からも尊敬されるでしょう。

良い選択をしようと努める人と一緒にいることを選ぶなら、自らを守ることができます。あなたが残りの生涯をともに過ごしたいと思う人は、あなたのために最良のものを望むはずです。『若人の強さのために』の中にはこのように述べら



**強** 固な、愛ある関係を築くための一つの方法は、率直なコミュニケーションを図ることです。コミュニケーションは、良い関係を作り出し、持続させるための手段です。





## 慈愛に 基づいた 愛を持つ

夫婦は互いのために  
最良のものを  
望みます。

慈愛は交際期間や  
結婚生活に  
求めるべき特質です。

れています。「高い標準を守るために励まし合い強め合えるような、価値観を分かち合える友達を選んでください。」(12ページ)

主は、人があらゆる面で一つとなれるように計画されています。結婚における肉体的な関係は霊と霊の結びつきをさらに堅固なものとするうえで助けとなります。男女は互いを益するために造られているのです。

良い手本が、人類最初のラブストーリーにあります。主は、アダムが独りであるのは良くないと言われました。そこで、主はエバを造り、「彼のために、ふさわしい助け手」となるようにされました(創世2:18)。この聖句に込められている意味は、エバがアダムのためにふさわしい(meet)助け手となるように造られたということです。英語の「meet」には、「適切な」「ふさわしい」という意味があります。つまり、エバは「彼(アダム)に、適切で、ふさわしく、似つかわしい」助け手ということです(欽定訳創世2:18, 脚注bから和訳)。その後、アダムは互いに「結び合い、一体となる」ように教えられます(創世2:24)。ここにすべての要素があります。まず互いにふさわしくなり、結婚後に

肉体的な関係を加えるのです。

わたしはそのような友を持つすばらしさを知っています。夫のジョンは、交際期間中、いつも親切で、思いやりがあり、ロマンチックな人でした。そして、働きながら大学に通い、4歳未満の子供が3人いても、いつもわたしに対して親切で、思いやり深く、ロマンチックに振る舞いました。ジョンはそのような態度を、わたしの忙しい家事を手伝うことで示してくれました。毎晩、子供たちをおふろに入れ、台所の床をふいてくれました。また、わたしにとっての社会への窓口として、世の中でどのようなことが起きているのかを知らせてくれました。家族を養い、母親であるわたしを励ましてくれました。子供たちが演劇やコンサート、スポーツ行事に参加したり、宿題をしたりするのを助けてくれました。散歩や週末の小旅行、神殿参入、また時には出張の同伴など、わたしに安らぐ時間を与えてくれました。わたしが夜、疲れて帰宅すると、わたしが食事を作らなくてもよいようにチーズトーストやその他のおいしい料理を作ってくれます。ジョンはわたしが記事やお話を書くときには靈感の源となり、編集者となってくれます。わたしのために祈り、神権の祝福を授けてくれます。あらゆる面でわたしにぴったりの助け手です。

わたしたち一人一人が友達、家族、神との関係を通して、人生にそのような喜びを見いだせるように願っています。強い友情は、キリストのような徳の上に築かれることを覚えておきましょう。その強い友情は、交際を深めていくための堅固な土台となります。そして、最後に、慎重に、肉体的な関係を加えることにより、結婚における神聖な友情をさらに深めることができます。これらの原則が真実であることを証します。主がわたしたちのために用意された神聖な交わりの中に喜びを見いだせますように。■

この記事は、ブリガム・ヤング大学アイダホ校で2003年11月18日に行われたディボーションの説教を基に書かれました。

# 御存じでしたか？

## 聖書に関するあなたの知識を試してみましょう

旧約聖書に記されている恋愛と結婚について、どれくらい知っていますか。(もちろん、聖書の時代にも、恋愛物語があったのです。)旧約聖書時代の預言者とそれぞれの妻を組み合わせさせてみましょう。

- |                   |                         |
|-------------------|-------------------------|
| 1. アダム            | a. レア (創世29:21-23参照)    |
| 2. ヨセフ (ヤコブの息子)   | b. アセナテ (創世41:45参照)     |
| 3. ヤコブ (イサクの息子)   | c. エバ (創世3:20参照)        |
| 4. イサク (アブラハムの息子) | d. チッボラ (出エジプト2:21参照)   |
| 5. アブラハム          | e. リベカ (創世24:67参照)      |
| 6. モーセ            | f. ラケル (創世29:20, 30参照)  |
|                   | g. サラ (創世11:29;17:15参照) |

答え——1 c (これはきつと正解したことでしょ?), 2 b, 3 a & f, 4 e, 5 g, 6 d



## 友達になろう

「友達はお金に換えられない財産です。なぜなら、真の友とは単にあるがままのわたしたちを愛するだけでなく、より善い人間になれるよう助けてくれる人だからです。……」

友人のいない人は不幸な人ですが、それ以上に不幸なのは、友達でいることをやめた人です。」

十二使徒定員会 マービン・J・アシュトン(1915-1994年)  
「貧しきことは楽しからず」『聖徒の道』1988年11月号, 33参照

## 慎み深いウェディングドレス

幾らブライダル情報誌をめくっても、将来神殿で結婚する日に着るのにふさわしい、慎み深いドレスは、恐らく見つからないでしょう。しかし丹念にお店を見て歩いて探すなら、慎み深く、しかも美しいウェディングドレスがきっと見つかるはずです。自分でドレスを縫うこともできます。型紙と好みの白い布地さえ探したら、後は作るだけです。



「エデンの園を去る」ジョセフ・ブリッキー画。ドレス/LATTERDAYBRIDE.COMの厚意により掲載



## 家族とは何でしょうか

**人**はこの地上に来る前に、天の父母の子供として育てられました。そして地上に誕生したときに、この世の父母のもとに生まれて来たのです。

わたしたちは天の御父がお作りになった幸福の計画(アルマ42:8参照)に基づいて、この地上で家族を持つ機会を与えられています。わたしたちはこの幸福の計画について知っています。聖文や末日の預言者の言葉を通して、この計画は人に教えられてきました。神の預言者、聖見者、そして啓示者と呼ばれる人々が近年発表した「家族——世界への宣言」は、この幸福の計画が真実であることを再確認しています。

「家族——世界への宣言」には、男女が結婚することによって家庭が作られることが簡潔に述べられています。主の神殿で結び固められた家族は、ふさわしければその関係が死を超えて永遠に続くこと約束されます。そのような家族の中に生まれる子供は、神殿の儀式を通して永遠にわたって両親に結び固められています。

「家族——世界への宣言」では、性別は人の永遠の特質の一部であり、この世の家庭と永遠の家庭において各自の役割を果たすうえで大切なものであると説明されています。「宣言」はまた、夫と妻は家族に対して永遠の目的を共有しているが、神の計画により、夫婦それぞれに異なる役割、しかも等しく重要な役割が与えられていると指摘しています。父親のおもな責任は、物質的に家族を養うことです。母親のおもな責任は子供を養い育てることで

す。夫と妻はともに働き、互いに補い合います。

状況の変化により、時として、天の御父の計画に従うことが困難になったり、あるいは不可能になったりすることもあります。天の御父は、そのような境遇の中で永遠の家族を築く原則に従って生きようと努力している人々をたたえ、祝福して下さいます。御父は子供を持つ人々を強めて下さいます。子供との永遠のきずなを築くために、義にかなった努力をしていけるよう助けを受けることができます。御父は、結婚の機会に恵まれていない人を祝福して下さいます。信仰をもって天の御父の教えを守って生活するならば、義にかなった人々のために用意されている豊かな祝福を受けることができます。だれもが、永遠の伴侶を得て、自分の家族を持つ日を待ち望み、その準備をすることができるのです。

「家族——世界への宣言」は、永遠の家族を築くためには、次のような土台が必要であると述べています。「実りある結婚と家庭は、信仰と祈り、悔い改め、赦し、尊敬、愛、思いやり、労働、健全な娯楽活動の原則にのっとり確立され、維持されます。」

家庭生活に関する神の計画がますます理解されにくくなっているこの世にあって、神の愛を受けている神の霊の息子や娘たちが、この「宣言」に示された原則に従って、永遠の目的に忠実に生きることは、ますます重要になっています。そのため、『リアホナ』と『エンサイン』(Ensign)では、「家族——世界への宣言」の中にある原則に基づいた記

事を今後数か月間シリーズでお届けします。「宣言」の全文は、本記事の隣のページに掲載されています。■



### 「家族の宣言」の紹介

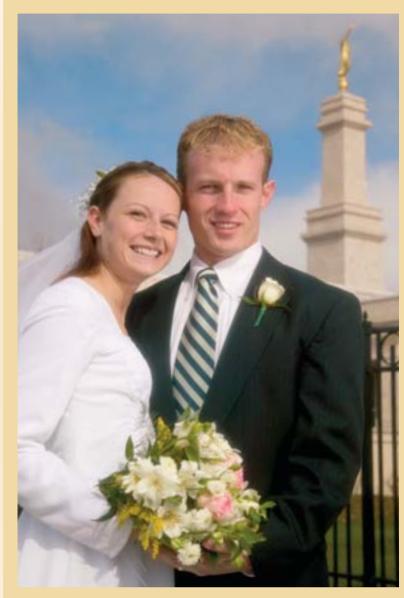
「現代は混乱の時代、価値観の揺らぐ時代です。甲高い声<sup>かんたか</sup>が、時に裏打ちされた行動の規範に反旗を翻し、これだ、あれだと叫びます。わたしたちの社会の倫理的な基盤は大きく揺らいでいます。……

倫理基準や価値観<sup>きん</sup>に対する欺瞞<sup>きまん</sup>が後を絶たず、じわじわと世の汚れに染めていこうとする誘惑<sup>きん</sup>があまりにも多いからです。このことを踏まえて、わたしたち大管長会と十二使徒評議会は、教会員ならびに一般の方々に向けて一つの宣言を発表いたします。これは、わたしたちの教会の預言者、聖見者、啓示者が歴史を通じて繰り返し述べてきた、家族にかかわる標準と教義とその運用についての宣言を再確認するものです。」

ゴードン・B・ヒンクレー大管長  
「世の策略に対抗して立つ」

『聖徒の道』1996年1月号、110-113。

この後「家族——世界への宣言」が発表されました。



大管長会と十二使徒定員会は  
次のように宣言しています。  
「家族は神によって定められたものです。  
男女の間の結婚は、  
神の永遠の計画に不可欠なものです。  
子供たちは結婚のきずなの中で生を受け、  
結婚の誓いを  
完全な誠意をもって尊ぶ父親と母親により  
育てられる権利を有しています。」  
「家族——世界への宣言」  
(裏表紙の内側に掲載)参照

